

II-4. スモン患者のキノホルム剤服用状況調査成績

昭和45年11月13日, スモン調査研究協議会総合班会議で発表

担 当 楠 井 賢 造 (臨床班)
重 松 逸 造 (疫学班)

協力者 柳川 洋 種村道彦 竹内和子
伊藤国子 塚本雅子 石川澄子
(国立公衆衛生院疫学部)

目 次

要 約
添 付 (調査票)
別 紙 1 (調査依頼状)
別 紙 2 (“ ”)
別 紙 3 (集計用コード一覧)
表 1 臨床班員別受領調査票枚数
表 2 性・年齢構成
表 3 初診年, 神経症状発現年別患者数
表 4 神経症状発現前 6 カ月, 神経症状発現後のキノホルム使用状況別患者数
表 5 神経症状発現前・後のキノホルム使用状況
表 6 神経症状発現前・後および前後計別キノホルム使用量の分布
表 7 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別下痢の強さ
表 8 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別下痢の強さ
表 9 神経症状発現前・後合計のキノホルム使用量別下痢の強さ
表 10 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別腹痛の強さ
表 11 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別腹痛の強さ
表 12 神経症状発現前・後合計のキノホルム使用量別腹痛の強さ
表 13 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別知覚障害の範囲
表 14 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別知覚障害の範囲
表 15 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別知覚の範囲

- 表 16 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別運動障害の程度
- 表 17 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別運動障害の程度
- 表 18 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別運動障害の程度
- 表 19 神経症状発現前後におけるキノホルム使用有無別視力障害の程度
- 表 20 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別視力障害の程度
- 表 21 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別視力障害の程度
- 表 22 神経症状発現前後におけるキノホルム使用有無別緑色舌苔の合併
- 表 23 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別緑色舌苔の合併
- 表 24 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別緑色舌苔の合併
- 表 25 神経症状発現前後におけるキノホルム使用有無別経過
- 表 26 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別経過
- 表 27 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別経過
- 表 28 神経症状発現前後におけるキノホルム使用有無別重症度
- 表 29 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別重症度
- 表 30 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別重症度
- 表 31 神経症状発現前後におけるキノホルム使用有無別再燃
- 表 32 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別再燃
- 表 33 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別再燃
- 表 34 神経症状発現前後におけるキノホルム使用有無別手術の既往歴と手術後のキノホルム使用状況
- 表 35 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別手術の既往歴と手術後のキノホルム使用状況
- 表 36 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別手術の既往歴と手術後のキノホルム使用状況
- 表 37 性・年齢別神経症状発現前 6 カ月のキノホルム使用状況
- 表 38 下痢の程度別，神経症状発現前におけるキノホルム使用量別知覚障害の範囲
- 表 39 下痢の程度別，神経症状発現前におけるキノホルム使用量別運動障害の程度
- 表 40 下痢の程度別，神経症状発現前におけるキノホルム使用量別視力障害の程度
- 表 41 下痢の程度別，神経症状発現前におけるキノホルム使用量別重症度
- 表 42 下痢の程度別，神経症状発現前におけるキノホルム使用量別再燃
- 表 43 下痢の強さと腹痛の強さの関係
- 表 44 腹痛の程度別，神経症状発現前におけるキノホルム使用量別重症度
- 表 45 下痢の程度別，神経症状発現前におけるキノホルム使用量別経過

表 46 手術後におけるキノホルム使用の有無と神経症状の程度

a. 知覚障害 b. 運動障害 c. 視力障害 d. 再燃

表 47 スモン患者672例中の死亡者50名についての分析

表 48 臨床班員別症例の性, 年齢構成, キノホルム剤服用状況および経過

付表 1～14 各班員20枚ずつの抽出標本による主要項目集計成績

要 約

1. 調査の目的

確実なスモン患者で、発病前後の服薬状況の明らかなものを対象に、キノホルム剤の服用状況を調査し、スモンとキノホルム剤の因果関係を検討すること。

2. 調査の方法

昭和45年9月下旬、当協議会臨床班所属の班員20氏に添付の調査票（次頁）を送付、同年10月20日までに上記条件のスモン患者について、神経症状発現前6カ月以内と発現後におけるキノホルム剤服用状況および関連事項の調査を依頼した。（別紙1, 2参照）各班員より提出された調査済み調査票は楠井委員の許で整理し、当協議会疫学班が協力して、国立公衆衛生院疫学部において集計を行なった。（別紙3, 集計用コード一覧参照）

3. 調査の結果

表1～48および付表1～14の通り

4. 調査の総括

今回の調査は、スモン患者のみについてキノホルム剤の服用状況を遡及的に観察したものであり、この成績だけからでは、それがスモン患者に特有な現象であるかどうかは断言できない。しかし、もしキノホルムがスモンの発症あるいはその進展と密接な因果関係があるならば、いわゆる dose-response relationship（量と反応の関係）が成立する筈であり、またすべてのスモン患者が共通してキノホルム剤を服用していることも必要条件の一つとってよい。

このような観点から今回の成績を検討してみると、調査症例890例中、薬剤使用状況の不明な148例を除いた742例のうち110例（14.8%は）、スモン神経症状の発現前6カ月以内にキノホルム剤を確実に服用しておらず、また神経症状発現後では、薬剤使用状況の判明している782例中147例（18.8%）がキノホルム剤の確実な非服用者であった。

神経症状発現前後におけるキノホルム使用の有無別および使用キノホルムの量別にスモンの各症候（下痢、腹痛、知覚障害、運動障害、視力障害、緑色舌苔）の程度、経過、重症度、再燃の有無、既往の手術あるいは性、年齢との関連を、キノホルム剤使用の有無が明らかな672

例について観察したが、いずれの場合も明瞭な **dose-response relationship** は認められなかった。しかし一部にはそのような傾向を示す所見があり、この場合神経症状発現前のキノホルム使用量よりは、発現前後合計のキノホルム使用量の方がより関連が深いように思われた。ただし、ここでみられたキノホルム使用量とスモン症状との関係が、真に **dose-response relationship** を示しているのか、あるいは症状の程度によって結果的にキノホルム使用量が左右されたのかどうかといった点は慎重に検討される必要がある。

この点を明らかにする手段の一つとして、腹部症状（下痢または腹痛）の程度が同じ症例について、神経症状発現前のキノホルム使用量別に、神経症状（知覚障害、運動障害、視力障害）の程度、重症度等を観察した。これによると、キノホルム使用の有無別にみた症状の程度差はやゝ明らかになったようであるが、キノホルムの使用量別にみた場合の量的関係は必ずしも一定していなかった。

なお、ここでいうキノホルム使用量とは、キノホルム製剤の種類にかかわらず、キノホルム純量として総使用量を計算したものであるが、キノホルム製剤の種類別、1日当りの使用量別、使用日数別等については現在検討中である。

神経症状発現の前後ともキノホルム剤使用あり群に死亡者が高率に発生している点については、この群の性、年齢構成、初診年等が他の群と大差がなかったことから考えて、キノホルム剤との関連をさらに検討する必要があるものと考えられる。

以上の成績は各臨床班員報告例数をそのまま合計して観察した結果によるものであるが、臨床班員の報告例数の偏りを補正する意味で、1班員20例ずつを抽出して、15班員分300例について同様の観察を行なった。（付表1～14）しかし、その結果は全数観察の場合と大差はなかった。



スモン調査研究協議会

スモン患者のキノホルム剤服用状況調査票

(確実なスモン患者で、発病前後の服薬状況の明らかなものを対象とする。)
従って、出来れば貴施設の自験例であることが望ましい。

貴施設名

調査担当者氏名

所在地

記載年月日

昭和 年 月 日

フリガナ			性	1男 2女	生年月日 (貴施設初診時年齢)	1 明治 2 大正 3 昭和	年 月 日生(満才)		
患者氏名	都道府県	郡市区	町村	番地	貴施設の 初診年月日	昭和	年 月 日		
腹部症状 発現年月日	昭和	年	月	日頃	神経症状 発現年月日	昭和	年 月 日頃		
腹部症状	下痢	1なし	あり(2+, 3+, 4+)	5不明	腹痛	1なし	あり(2+, 3+, 4+) 5不明		
<p>神経症状発現前6カ月以内および発現後の薬剤使用状況 キノホルム剤服用について次の各項のうち該当番号および記号を○で囲んで下さい。 神経症状発現前6カ月以内の服用 1 確実になし(その裏づけ a 患者から直接きいた b 主治医のカルテを詳しく調べた c その他) 2 ないらしいが不確実 3 あり 4 不明 神経症状発現後の服用 1 確実になし(その裏づけ a 患者から直接きいた b 主治医のカルテを詳しく調べた c その他) 2 ないらしいが不確実 3 あり 4 不明 次の2項のうち、該当番号を○で囲み、その内容を1の場合は左の表に薬品名のみを、2の場合は右の表にキノホルム剤は用量を明記し、他の薬剤は薬品名のみを記入して下さい。 1 医師の投薬以外の服用(家庭常備薬、薬局から購入、その他) 2 医師による投薬</p>									
薬品名				服用期間		処方		投与期間	
(1)				昭和 年 月 日 ~ 年 月 日		(1)	昭和 年 月 日 ~ 年 月 日		
(2)				. . . ~ . . .		(2)	. . . ~ . . .		
(3)				. . . ~ . . .		(3)	. . . ~ . . .		
(4)				. . . ~ . . .		(4)	. . . ~ . . .		
(5)				. . . ~ . . .		(5)	. . . ~ . . .		
(6)				. . . ~ . . .		(6)	. . . ~ . . .		
(7)				. . . ~ . . .		(7)	. . . ~ . . .		
(8)				. . . ~ . . .		(8)	. . . ~ . . .		
(9)				. . . ~ . . .		(9)	. . . ~ . . .		
(10)				. . . ~ . . .		(10)	. . . ~ . . .		
神経症状 (最盛期)	知覚障害の範囲: 1なし 2足関節+3膝+4そけい部+ 5臍まで 6その他 7不明		運動障害の程度: 1なし 2下肢の脱力 3歩行困難 4起立不能 5その他 6不明		視力障害: 1なし 2軽度 3中等度 4高度 5不明		緑色 舌苔 の 合併		1なし 2軽度 3中等度 4高度 5不明
経過	1不明 2悪化 3不変 4軽快 (数カ月で、1年ぐらいて、数年で)	5治療 6死亡	重症度 (総合印象)		1軽症 2中等症 3重症				
再燃	1なし 2あり	第1回 昭和 年 月 日 第2回 昭和 年 月 日 第3回 昭和 年 月 日	再燃時の 腹部症状合併		1なし 2あり(下痢・腹痛・) 1なし 2あり(下痢・腹痛・) 1なし 2あり(下痢・腹痛・)				
貴観察期間	外来	第1回 昭和 年 月 日 ~ 昭和 年 月 日 第2回 昭和 年 月 日 ~ 昭和 年 月 日 第3回 昭和 年 月 日 ~ 昭和 年 月 日	入院		第1回 昭和 年 月 日 ~ 昭和 年 月 日 第2回 昭和 年 月 日 ~ 昭和 年 月 日 第3回 昭和 年 月 日 ~ 昭和 年 月 日				
神経症状発現前6カ月 以内の手術の既往歴	1なし 2あり(手術期日: 昭和 年 月 日、病名:) 術後にキノホルム剤 1使用せず 2使用した(日間、総量 g)								

注: 腹部症状というのは スモンに直接関連があると思われる腹部症状という意味に解して下さい。

別紙 1

昭和45年 9 月20日

臨床班員各位 殿

スモン調査研究協議会臨床班
キノホルム調査委員

楠 井 賢 造

謹啓 時下爽秋の候、貴台益々御清祥の段、慶賀の至りに存じます。さて、既に御承知の通り、椿 忠雄班員は御自身の調査成績から、「キノホルム剤の服用がスモンの発病に重要因子であると考えられる」という意味の発表をされ、各方面から多大の関心を集めています。この時にあたり、スモン調査研究協議会においても早急にこの問題を検討するに足る正確な資料を集めなければなりませんので、甲野会長および豊倉臨床班長から、わたくしにそのお世話をするようにと、去る9月2日に、お話しがあり、不束ではありますが、非常に重要な使命と存じ、お引受けいたしました。まず、出来るだけ正確な資料を得るには、それに適合した調査票の作製が大切であると思われ、わたくしの試案を会長・疫学班の重松班長・臨床班の豊倉班長ほか数名の班員にお送りして御添削・改良をお願いいたし、それにもとずいて作製した調査票の印刷が漸く出来上りました。

就ては、この調査は臨床班員総力をあげて行うべきものと存じますので、何卒貴台の絶大な御協力を御願ひ申し上げる次第であります。本日は取りあえず、10部ずつ配布申し上げますが、貴施設でなお必要部数の御予定が立ちましたならば、御一報いたゞき度く、直ちに御申越し部数を御送り申し上げます。若し、御申越しのない節は、10部で間に合うと御見通しのことゝ推察させていただきます。なお、この調査は緊急を要すると存じますので、御多用中甚だ恐縮に存じますが、この調査票の回収期日を昭和45年10月20日と定めましたので、その前後にわたくしの手許まで到着するよう、速達・書留で郵送いただければ幸甚の至りに存じます。

まずは御願ひと御連絡まで。

御自愛をお祈りいたします。

敬 具

別紙 2

昭和45年10月8日

臨床班員各位殿

スモン調査研究協議会臨床班
キノホルム調査委員

楠 井 賢 造

謹啓、過般来お願い申し上げます「スモン患者のキノホルム剤服用状況調査票」の回収および其の後の処理について、下記の通り予定しておりますので、何卒御了承の上、よろしく御協力の程お願い申し上げます。

1. 調査票の回収

御記入いただいた調査票はそのまま全部一括して、速達・書留郵便で、期日までにわたくしの手許に到着するよう御発送願います。なお、御発送と同時に、同封葉書にお送り下さった調査票の部数と日付を御記入、御署名の上、御投函下さい。

回収期日：昭和45年10月20日

宛 先：和歌山市真砂町2丁目14番地

和歌山市立城南病院 楠 井 賢 造

2. 調査票の集計

甲野会長、重松疫学班長および豊倉臨床班長と御相談の結果、本件はまことに緊急な重要事項であります関係上、取り敢えず、重松班長のもとで集計・統計処理をお願いすることに決定いたしました。就ては、来る10月26日（月）・27日（火）両日、国立公衆衛生院疫学部の柳川洋室長が和歌山市に御出張、回収した全部の調査票について主眼項目に関する統計処理だけを終了し、さらに其他これに関する重要と考えられる項目についての相関関係などを統計処理するため、回収調査票を全部一括して公衆衛生院に御持ち帰り願います。

3. 調査票の集計成績の報告および討議

集計・統計処理された成績については、来る11月13日（金）14日（土）国立教育会館で開催予定のスモン調査研究協議会総合班会議で報告出来るよう早急に手配いたします。その席上、その成績をもとにして、直接調査に携わられた班員各位の忌憚ない御討議をいたゞき、出来れば協議会としてのまとまった見解が得られれば、まことに幸甚の至りに存するものと期待いたしております。

4. 調査票の保管

わたくしが責任をもって保管いたします。

以 上

別紙3 スモン患者のキノホルム剤服用状況調査票集計用コード一覧

No.	項 目	コラム	コ ー ド
1	性	1	1 男 2 女
2	年 令	3,4	2けたの数(年令不明00)
3	調 査 票 番 号	6~8	3けたの数(001から890まで)
4	初 診 年 次	11,12	初診年 2けた(年不明 99)
5	神 経 症 状 発 現 年	13,14	発現年 2けた(年不明 99)
6	神経症状発現前キノホルム服用量	15	0不明, なし(コード No. 12,13で区別可)
7	神経症状発現後キノホルム服用量	16	1. 1~10g 2. 11~20g 3. 21~40g 4. 41~60g 5. 61~100g 6. 101~140g 7. 141~220g 8. 221~300g
8	神経症状現前後合計 キノホルム服用量	17	9. 301g以上 (301~460g, 461g以上の区別けは) 原票を用いた
9	下 痢	21	1. な し 2. + 3. ++ 4. +++ 5. 不 明
10	腹 痛	22	6. あり強さ不明
11	神経症状発現前6カ月以内のキノホルム剤服用	23,24	1けため 1. 確実になし 2. ないらしいが不確実 3. あ り 4. 不 明
12	神経症状発現後のキノホルム剤服用	25,26	2けため 確実になしのみについてその裏づけ 1. 患者から直接きいた 2. 主治医のカルテ 3. その他, 不明 4. 患者と治医のカルテ
13	知 覚 障 害 の 範 囲	29	1. な し 2. 足関節まで 3. 膝まで 4. そけい部まで 5. 臍ま まで 6. その他 7. 不 明
14	運 動 障 害 の 程 度	30	1. な し 2. 下肢の脱力 3. 歩行困難 4. 起立不能 5. そ の 他 6. 不 明
15	視 力 障 害	31	1. な し 2. 軽 度 3. 中等度 4. 高 度 5. 不 明
16	緑 色 舌 苔 の 合 併	32	1. な し 2. 軽 度 3. 中等度 4. 高 度 5. 不 明
17	経 過	34,35	1けため 1. 不明 2. 悪化 3. 不変 4. 軽快 5. 治ゆ 6. 死亡 2けため 軽快のみについて 1. 数カ月で 2. 1 年ぐらいで 3. 数年で
18	重 症 度 (総 合 印 象)	36	1. 軽 症 2. 中等症 3. 重 症 4. 記入なし
19	再 燃	37	1. な し 2. あ り 3. 記入なし
20	神経症状発現前6カ月以内の手術の 既往歴と術後のキノホルム剤の使用	39,40	1. けため 1. なし 2. あり (記入なしは 1. なしとして処理) 2. けため ありのみについて 1. 使用せず 2. 使用した 3. 記入なし

表1 臨床班員別受領調査票枚数

No.	臨床班員氏名 (受領月日順・敬称略)	受領調査票 枚数
1	大藤真	47
2	藤原哲司	26
3	早瀬正二	5
4	伊東弓多	28
5	平木潔	43
6	黒岩義五郎	32
7	大月三郎	2
8	豊倉康夫	60
9	小坂淳夫	34
10	高崎浩雄	31
11	椿忠雄	39
12	三好和夫	24
13	杉山尚夫	20
14	右京成夫	2
15	祖父江逸郎	199
16	大村一郎	234
17	楠井賢造	25
18	越島新三郎	39
計		890

表2 性・年令構成

区分	総数	年令別								年令不明
		全年令	～19才	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70才以上	
男女計	890	883 (100.0)	27 (3.1)	97 (11.0)	153 (17.3)	179 (20.3)	190 (21.5)	182 (20.6)	55 (6.2)	7
男	291	288 (100.0)	12 (4.2)	29 (10.1)	65 (22.6)	59 (20.5)	59 (20.5)	53 (18.4)	11 (3.8)	3
女	599	595 (100.0)	15 (2.5)	68 (11.4)	88 (14.8)	120 (20.2)	131 (22.0)	129 (21.7)	44 (7.4)	4

()内は%を示す。以下の表も同じ。

表3 初診年・神経症状発現年別患者数

区分	総数	年次別											年次不明
		全年次	昭和36年以前	37年	38年	39年	40年	41年	42年	43年	44年	45年	
初診年	890	873 (100.0)	20 (2.3)	15 (1.7)	15 (1.3)	35 (4.0)	70 (8.0)	111 (12.7)	72 (8.2)	96 (11.0)	236 (27.0)	207 (13.7)	17
神経症状発現年	890	887 (100.0)	17 (1.9)	11 (1.2)	20 (2.3)	28 (3.2)	60 (6.8)	111 (12.5)	88 (9.9)	133 (15.0)	240 (27.1)	179 (20.2)	3

表4 神経症状発現前6カ月・神経症状発現後のキノホルム使用状況別患者数

区 分	総数	薬 剤 使 用 状 況 別								使用状況 不 明
		総 数 (除不明)	確 実 に な し				な い ら し い が あ り 不 確 実	な い ら し い が あ り 不 確 実	不 明	
			計	な し の 裏 づ け						
				「患者に きいた」 「カルノ を調べた」 の両者	「患者に きいた」 の み	「カルテ を調べ た」 の み				
神経症状発現 前6カ月の間	890	742 (100.0)	110 (14.8)	41 (5.5)	15 (2.0)	48 (6.5)	6 (0.8)	22 (3.0)	610 (82.2)	148
神経症状発現 後	890	782 (100.0)	147 (18.8)	28 (3.6)	4 (0.5)	108 (13.8)	7 (0.9)	34 (4.3)	601 (76.9)	108

表5 神経症状発現前・後のキノホルム使用状況

区 分	神 經 症 状 発 現 後						
	総 数	除 不 確 実 ・ 不 明			な い ら し い が あ り 不 確 実	不 明	
		計	確 実 に な し	あ り			
神 經 症 状 発 現 前 6 カ 月	総 数	890	748	147	601	34	108
除 不 確 実 ・ 不 明	計	720	672	130	542	15	33
	確 実 に な し	110	102	63	39	—	8
	あ り	610	570	67	503	15	25
	な い ら し い が あ り 不 確 実	22	16	2	14	3	3
	不 明	148	60	15	45	16	72

太枠内の症例数を以下の表における分析対象とした。

表6 神経症状発現前・後および前後計別キノホルム使用量の分布*

区 分	神 經 症 状 発 現 前	神 經 症 状 発 現 後	神 經 症 状 発 現 前 後 計	
総 数	672	672	672	
確 実 に な し	102	130	63	
あ り ・ 量 別	計	508	461	505
	1～10g	62	80	23
	11～20	84	61	30
	21～40	173	80	79
	41～60	77	40	85
	61～100	63	49	86
	101～140	19	32	43
	141～220	18	48	60
	221～300	2	29	37
	301～460	5	22	32
	461以上	5	20	30
あ り 量 不 明	62	81	104	
服 用 あ り の 平 均	52g	115g	147g	

* キノホルム製剤の種類にかかわらず、含有キノホルム量によって集計した。以下の表も同じ。

表7 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別下痢の強さ

神経症状 発現前 6カ月	神経症状 発現後	総数	総数 (除不明)	なし	下痢あり					不明
					計	+	++	+++	強さ不明	
総数	総数	672	642 (100.0)	195 (30.4)	447 (69.6)	280 (43.6)	106 (16.5)	31 (4.8)	30 (4.7)	30
	確実に なし	130	124 (100.0)	49 (39.5)	75 (60.5)	54 (43.5)	13 (10.5)	6 (4.8)	2 (1.6)	6
	あり	542	518 (100.0)	146 (28.2)	372 (71.8)	226 (43.6)	93 (18.0)	25 (4.8)	28 (5.4)	24
確実に なし	総数	102	100 (100.0)	37 (37.0)	63 (63.0)	44 (44.0)	11 (11.0)	6 (6.0)	2 (2.0)	2
	確実に なし	63	61 (100.0)	25 (41.0)	36 (59.0)	27 (44.2)	4 (6.6)	4 (6.6)	1 (1.6)	2
	あり	39	39 (100.0)	12 (30.8)	27 (69.2)	17 (43.6)	7 (17.9)	2 (5.1)	1 (2.6)	—
あり	総数	570	542 (100.0)	158 (29.2)	384 (70.8)	236 (43.5)	95 (17.5)	25 (4.6)	28 (5.2)	28
	確実に なし	67	63 (100.0)	24 (38.1)	39 (61.9)	27 (42.9)	9 (14.3)	2 (3.2)	1 (1.6)	4
	あり	503	479 (100.0)	134 (28.0)	345 (72.0)	209 (43.6)	86 (18.0)	23 (4.8)	27 (5.6)	24

表8 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別下痢の強さ

区 分	総数	総数 (除不明)	なし	あ り					不明	
				計	+	++	+++	強さ不明		
総数	672	642	195	447	280	106	31	30	30	
確実に なし	102	100 (100.0)	37 (37.0)	63 (63.0)	44 (44.0)	11 (11.0)	6 (6.0)	2 (2.0)	2	
あ り	総数	570	542 (100.0)	158 (29.2)	384 (70.8)	236 (43.5)	95 (17.5)	25 (4.6)	28 (5.2)	28
	20g以下	146	138 (100.0)	36 (26.1)	102 (73.9)	59 (42.8)	29 (21.0)	6 (4.3)	8 (5.8)	8
	21~60g	250	239 (100.0)	72 (30.1)	167 (69.9)	97 (40.6)	43 (18.0)	10 (4.2)	17 (7.1)	11
	60g以上	112	106 (100.0)	38 (35.8)	68 (64.2)	42 (39.6)	16 (15.1)	9 (8.5)	1 (0.9)	6
	量不明	62	59 (100.0)	12 (20.3)	47 (79.7)	38 (64.4)	7 (11.9)	—	2 (3.4)	3

表9 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別下痢の強さ

区 分	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り					不 明	
				計	十	廿	卅	強さ不明		
総 数	672	642 (100.0)	195 (30.4)	447 (69.6)	280 (43.6)	106 (16.5)	31 (4.8)	30 (4.7)	30	
確 実 に な し	63	61 (100.0)	25 (41.0)	36 (59.0)	27 (44.3)	4 (6.6)	4 (6.6)	1 (1.6)	2	
あ り	総 数	609	581 (100.0)	170 (29.3)	411 (70.7)	253 (43.5)	102 (17.6)	27 (4.6)	29 (5.0)	28
	40g 以下	132	124 (100.0)	41 (33.1)	83 (66.9)	55 (44.4)	21 (16.9)	2 (1.6)	5 (4.0)	8
	41~140g	214	202 (100.0)	65 (32.2)	137 (67.8)	74 (36.6)	38 (18.8)	10 (5.0)	15 (7.4)	12
	141g 以上	159	155 (100.0)	43 (27.7)	112 (72.3)	68 (43.9)	27 (17.4)	11 (7.1)	6 (3.9)	4
	量 不 明	104	100 (100.0)	21 (21.0)	79 (79.0)	56 (56.0)	16 (16.0)	4 (4.0)	3 (3.0)	4

表10 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別腹痛の強さ

神経症状 発現前6 カ月	神経症状 発 現 後	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り					不 明
					計	十	廿	卅	強さ不明	
総 数	総 数	672	649 (100.0)	118 (18.2)	531 (81.8)	234 (36.1)	158 (24.3)	101 (15.6)	38 (5.9)	23
	確 実 に な し	130	129 (100.0)	28 (21.7)	101 (78.5)	52 (40.3)	30 (23.3)	15 (11.6)	4 (3.1)	1
	あ り	542	520 (100.0)	90 (17.3)	430 (82.7)	182 (35.0)	128 (24.6)	86 (16.5)	34 (6.5)	22
確 実 に な し	総 数	102	102 (100.0)	20 (19.6)	82 (80.4)	49 (48.0)	23 (22.5)	8 (7.8)	2 (2.0)	—
	確 実 に な し	63	63 (100.0)	14 (22.2)	49 (77.8)	32 (50.8)	14 (22.2)	3 (4.8)	—	—
	あ り	39	39 (100.0)	6 (15.4)	33 (84.6)	17 (43.6)	9 (23.1)	5 (12.8)	2 (5.1)	—
あ り	総 数	570	547 (100.0)	98 (17.9)	449 (82.1)	185 (33.8)	135 (24.7)	93 (17.0)	36 (6.6)	23
	確 実 に な し	67	66 (100.0)	14 (21.2)	52 (78.8)	20 (30.3)	16 (24.2)	12 (18.2)	4 (6.1)	1
	あ り	503	481 (100.0)	84 (17.5)	397 (82.5)	165 (34.3)	119 (24.7)	81 (16.8)	32 (6.7)	22

表11 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別腹痛の強さ

区 分	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り					不 明	
				計	+	++	+++	強さ不明		
総 数	672	649 (100.0)	118 (18.2)	531 (81.8)	234 (36.1)	158 (24.3)	101 (15.6)	38 (5.9)	23	
確 実 に な し	102	102 (100.0)	20 (19.6)	82 (80.4)	49 (48.0)	23 (22.5)	8 (7.8)	2 (2.0)	—	
あ り	総 数	570	547 (100.0)	98 (17.9)	449 (82.1)	185 (33.8)	135 (24.6)	93 (17.0)	36 (6.6)	23
	20g 以下	146	140 (100.0)	31 (22.1)	109 (77.9)	36 (25.7)	37 (26.4)	28 (20.0)	8 (5.7)	6
	21~60g	250	239 (100.0)	36 (15.1)	203 (84.9)	82 (34.3)	55 (23.0)	44 (18.4)	22 (9.2)	11
	61g 以上	112	108 (100.0)	25 (23.1)	83 (76.9)	28 (25.9)	34 (31.5)	18 (16.7)	3 (2.8)	4
	量 不 明	62	60 (100.0)	6 (10.0)	54 (90.0)	39 (65.0)	9 (15.0)	3 (5.0)	3 (5.0)	2

表12 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別腹痛の強さ

区 分	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り					不 明	
				計	+	++	+++	強さ不明		
総 数	672	649 (100.0)	118 (18.2)	531 (81.8)	234 (36.1)	158 (24.3)	101 (15.6)	38 (5.9)	23	
確 実 に な し	63	63 (100.0)	14 (22.2)	49 (77.8)	32 (50.8)	14 (22.2)	3 (4.8)	—	—	
あ り	総 数	609	586 (100.0)	104 (17.7)	482 (82.3)	202 (34.5)	144 (24.6)	98 (16.7)	38 (6.5)	23
	40g 以下	132	125 (100.0)	28 (22.4)	97 (77.6)	37 (29.6)	32 (25.6)	20 (16.0)	8 (6.4)	7
	41~140g	214	206 (100.0)	28 (13.6)	178 (86.4)	60 (29.1)	52 (25.2)	47 (22.8)	19 (9.2)	8
	141g 以上	159	154 (100.0)	38 (24.7)	116 (75.3)	44 (28.6)	42 (27.3)	24 (15.6)	6 (3.9)	5
	量 不 明	104	101 (100.0)	10 (9.9)	91 (90.1)	61 (60.4)	18 (17.8)	7 (6.9)	5 (5.0)	3

表13 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別知覚障害の範囲

神経症状 発現前 6カ月	神経症状 発現後	総数	総数 (除不明)	なし	あり						不明
					計	足関節 まで	膝まで	そけい部 まで	臍まで	他	
総数	総数	672	666 (100.0)	—	666 (100.0)	59 (8.9)	138 (20.7)	243 (36.5)	190 (28.5)	36 (5.4)	6
	確実に なし	130	127 (100.0)	—	127 (100.0)	15 (11.8)	30 (23.6)	44 (34.6)	36 (28.3)	2 (1.6)	3
	あり	542	539 (100.0)	—	539 (100.0)	44 (8.2)	108 (20.0)	199 (36.9)	154 (28.6)	34 (6.3)	3
確実に なし	総数	102	102 (100.0)	—	102 (100.0)	18 (17.6)	26 (25.5)	26 (25.5)	29 (28.4)	3 (2.9)	—
	確実に なし	63	63 (100.0)	—	63 (100.0)	11 (17.5)	15 (23.8)	17 (27.0)	19 (30.2)	1 (1.6)	—
	あり	39	39 (100.0)	—	39 (100.0)	7 (17.9)	11 (28.2)	9 (23.1)	10 (25.6)	2 (5.1)	—
あり	総数	570	564 (100.0)	—	564 (100.0)	41 (7.3)	112 (19.9)	217 (38.5)	161 (28.5)	33 (5.9)	6
	確実に なし	67	64 (100.0)	—	64 (100.0)	4 (6.3)	15 (23.4)	27 (42.2)	17 (26.6)	1 (1.6)	3
	あり	503	500 (100.0)	—	500 (100.0)	37 (7.4)	97 (19.4)	190 (38.0)	144 (28.8)	32 (6.4)	3

表14 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別知覚障害の範囲

区 分	総数	総数 (除不明)	なし	あり						不 明	
				計	足関節 まで	膝まで	そけい部 まで	臍まで	その他		
総 数	672	666 (100.0)	—	666 (100.0)	59 (8.9)	138 (20.7)	243 (36.5)	190 (28.5)	36 (5.4)	6	
確実に なし	102	102 (100.0)	—	102 (100.0)	18 (17.6)	26 (25.5)	26 (25.5)	29 (28.4)	3 (2.9)	—	
あ り	総 数	570	564 (100.0)	—	564 (100.0)	41 (7.3)	112 (19.9)	217 (38.5)	161 (28.5)	33 (5.9)	6
	20g以下	146	144 (100.0)	—	144 (100.0)	11 (7.6)	22 (15.3)	50 (34.7)	52 (36.1)	9 (6.3)	2
	21~60g	250	246 (100.0)	—	246 (100.0)	19 (7.7)	52 (21.1)	100 (40.7)	65 (26.4)	10 (4.1)	4
	61g以上	112	112 (100.0)	—	112 (100.0)	4 (3.6)	24 (21.4)	46 (41.1)	32 (28.6)	6 (5.4)	—
	量不明	62	62 (100.0)	—	62 (100.0)	7 (11.3)	14 (22.6)	21 (33.9)	12 (19.4)	8 (12.9)	—

表15 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別知覚障害の範囲

区 分	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り						不 明	
				計	足関節 ま	膝まで	そけい部 で	臍まで	その他		
総 数	672	666 (100.0)	—	666 (100.0)	59 (8.9)	138 (20.7)	243 (36.5)	190 (28.5)	36 (5.4)	6	
確実になし	63	63 (100.0)	—	63 (100.0)	11 (17.5)	15 (23.8)	17 (27.0)	19 (30.2)	1 (1.6)	—	
あ	総 数	609	603 (100.0)	—	603 (100.0)	48 (8.0)	123 (20.4)	226 (37.5)	171 (28.4)	35 (5.8)	6
	40g以下	132	129 (100.0)	—	129 (100.0)	12 (9.3)	26 (20.2)	48 (37.2)	40 (31.0)	3 (2.3)	3
	41~140g	214	211 (100.0)	—	211 (100.0)	17 (8.1)	45 (21.3)	90 (42.7)	44 (20.9)	15 (7.1)	3
	141g以上	159	159 (100.0)	—	159 (100.0)	9 (5.7)	33 (20.8)	51 (32.1)	58 (36.5)	8 (5.0)	—
り	量不明	104	104 (100.0)	—	104 (100.0)	10 (9.6)	19 (18.3)	37 (35.6)	29 (27.9)	9 (8.7)	—

表16 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別運動障害の程度

神経症状 発現前 6カ月	神経症状 発現後	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り					不 明
					計	下 肢 の 脱 力	歩行困難	起立不能	その他	
総 数	総 数	672	668 (100.0)	166 (24.9)	502 (75.1)	136 (20.4)	213 (31.9)	146 (21.9)	7 (1.0)	4
	確実に なし	130	128 (100.0)	40 (31.3)	88 (68.8)	27 (21.1)	34 (26.6)	26 (20.3)	1 (0.8)	2
	あ り	542	540 (100.0)	126 (23.3)	414 (76.7)	109 (20.2)	179 (33.1)	120 (22.2)	6 (1.1)	2
確 実 に な し	総 数	102	102 (100.0)	31 (30.4)	71 (69.6)	21 (20.6)	31 (30.4)	19 (18.6)	—	—
	確 実 に なし	63	63 (100.0)	20 (31.7)	43 (68.3)	13 (20.6)	19 (30.2)	11 (17.5)	—	—
	あ り	39	39 (100.0)	11 (28.2)	28 (71.8)	8 (20.5)	12 (30.8)	8 (20.5)	—	—
あ り	総 数	570	566 (100.0)	135 (23.9)	431 (76.1)	115 (20.3)	182 (32.2)	127 (22.4)	7 (1.2)	4
	確 実 に なし	67	65 (100.0)	20 (30.8)	45 (69.2)	14 (21.5)	15 (23.1)	15 (23.1)	1 (1.5)	2
	あ り	503	501 (100.0)	115 (23.0)	386 (77.0)	101 (20.2)	167 (33.3)	112 (22.4)	6 (1.2)	2

表17 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別運動障害の程度

区 分	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り					不 明	
				計	下肢の 脱力	歩行困難	起立不能	その他		
総 数	672	668 (100.0)	166 (24.9)	502 (75.1)	136 (20.4)	213 (31.9)	146 (21.9)	7 (1.0)	4	
確 実 に な し	102	102 (100.0)	31 (30.4)	71 (69.6)	21 (20.6)	31 (30.4)	19 (18.6)	—	—	
あ り	総 数	570	566 (100.0)	135 (23.9)	502 (76.1)	115 (20.3)	182 (32.2)	127 (22.4)	7 (1.2)	4
	20g 以下	146	143 (100.0)	34 (23.8)	109 (76.2)	27 (18.9)	42 (29.4)	38 (26.6)	2 (1.4)	3
	21~60g	250	250 (100.0)	62 (24.8)	188 (75.2)	51 (20.4)	83 (33.2)	50 (20.0)	4 (1.6)	—
	61g 以上	112	112 (100.0)	23 (20.5)	89 (79.5)	19 (17.0)	42 (37.5)	27 (24.1)	1 (0.9)	—
	量 不 明	62	61 (100.0)	16 (26.2)	45 (73.8)	18 (29.5)	15 (24.6)	12 (19.7)	—	1

表18 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別運動障害の程度

区 分	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り					不 明	
				計	下肢の 脱力	歩行困難	起立不能	その他		
総 数	672	668 (100.0)	166 (24.9)	502 (75.1)	136 (20.4)	213 (31.9)	146 (21.9)	7 (1.0)	4	
確 実 に な し	63	63 (100.0)	20 (31.7)	43 (68.3)	13 (20.6)	19 (30.2)	11 (17.5)	—	—	
あ り	総 数	609	605 (100.0)	146 (24.1)	459 (75.9)	123 (20.3)	194 (32.1)	135 (22.3)	7 (1.2)	4
	40g 以下	132	129 (100.0)	36 (27.9)	93 (72.1)	29 (22.5)	43 (33.3)	20 (15.5)	1 (0.8)	3
	41~140g	214	214 (100.0)	51 (23.8)	163 (76.2)	43 (20.1)	66 (30.8)	50 (23.4)	4 (1.9)	—
	141g 以上	159	159 (100.0)	37 (23.3)	122 (76.7)	28 (17.6)	53 (33.3)	39 (24.5)	2 (1.3)	—
	量 不 明	104	103 (100.0)	22 (21.4)	81 (78.6)	23 (22.3)	32 (31.1)	26 (25.2)	—	1

表19 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別視力障害の程度

神経症状 発現前 6カ月	神経症状 発現後	総数	総数 (除不明)	なし	あり				不明
					計	軽度	中等度	高度	
総数	総数	672	663 (100.0)	471 (71.0)	192 (29.0)	113 (17.0)	39 (5.9)	40 (6.0)	9
	確実になし	130	127 (100.0)	98 (77.2)	29 (22.8)	23 (18.1)	4 (3.1)	2 (1.6)	3
	あり	542	536 (100.0)	373 (69.6)	163 (30.4)	90 (16.8)	35 (6.5)	38 (7.1)	6
確実になし	総数	102	102 (100.0)	75 (73.5)	27 (26.5)	15 (14.7)	5 (4.9)	7 (6.9)	—
	確実になし	63	63 (100.0)	48 (76.2)	15 (23.8)	11 (17.5)	3 (4.8)	1 (1.6)	—
	あり	39	39 (100.0)	27 (69.2)	12 (30.8)	4 (10.3)	2 (5.1)	6 (15.4)	—
あり	総数	570	561 (100.0)	396 (70.6)	165 (29.4)	98 (17.5)	34 (6.1)	33 (5.9)	9
	確実になし	67	64 (100.0)	50 (78.1)	14 (21.9)	12 (18.8)	1 (1.6)	1 (1.6)	3
	あり	503	497 (100.0)	346 (69.6)	151 (30.4)	86 (17.3)	33 (6.6)	32 (6.4)	6

表20 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別視力障害の程度

区分	総数	総数 (除不明)	なし	あり				不明	
				計	軽度	中等度	高度		
総数	672	663 (100.0)	471 (71.0)	192 (29.0)	113 (17.0)	39 (5.9)	40 (6.0)	9	
確実になし	102	102 (100.0)	75 (73.5)	27 (26.5)	15 (14.7)	5 (4.9)	7 (6.9)	—	
あり	総数	570	561 (100.0)	396 (70.6)	165 (29.4)	98 (17.5)	34 (6.1)	33 (5.9)	9
	20g以下	146	143 (100.0)	95 (66.4)	48 (33.6)	27 (18.9)	9 (6.3)	12 (8.4)	3
	21~60g	250	248 (100.0)	190 (76.6)	58 (23.4)	38 (15.3)	9 (3.6)	11 (4.4)	2
	61g以上	112	110 (100.0)	76 (69.1)	34 (30.9)	18 (16.4)	10 (9.1)	6 (5.5)	2
	量不明	62	60 (100.0)	35 (58.3)	25 (41.7)	15 (25.0)	6 (10.0)	4 (6.7)	2

表21 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別視力障害の程度

区 分	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り				不 明	
				計	軽 度	中等度	高 度		
総 数	672	663 (100.0)	471 (71.0)	192 (29.0)	113 (17.0)	39 (5.9)	40 (6.0)	9	
確 実 に な し	63	63 (100.0)	48 (76.2)	15 (23.8)	11 (17.5)	3 (4.8)	1 (1.6)	—	
あ り	総 数	609	600 (100.0)	423 (70.5)	177 (29.5)	102 (17.0)	36 (6.0)	39 (6.5)	9
	40g 以 下	132	129 (100.0)	103 (79.8)	26 (20.2)	17 (13.2)	4 (3.1)	5 (3.9)	3
	41~140g	214	212 (100.0)	157 (74.1)	55 (25.9)	38 (17.9)	11 (5.2)	6 (2.8)	2
	141g 以 上	159	158 (100.0)	99 (62.7)	59 (37.3)	28 (17.7)	14 (8.9)	17 (10.8)	1
	量 不 明	101	101 (100.0)	64 (63.4)	37 (36.6)	19 (18.8)	7 (6.9)	11 (10.9)	3

表22 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別緑色舌苔の合併

神経症状 発現前 6カ月	神経症状 発現後	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り				不 明
					計	軽 度	中等度	高 度	
総 数	総 数	672	430 (100.0)	361 (84.0)	69 (16.0)	28 (6.5)	31 (7.2)	10 (2.3)	242
	確実になし	130	97 (100.0)	89 (91.8)	8 (8.2)	5 (5.2)	3 (3.1)	—	33
	あ り	542	333 (100.0)	272 (81.7)	61 (18.3)	23 (6.9)	28 (8.4)	10 (3.0)	209
確実になし	総 数	102	85 (100.0)	75 (88.2)	10 (11.8)	4 (4.7)	4 (4.7)	2 (2.4)	17
	確実になし	63	53 (100.0)	50 (94.3)	3 (5.7)	2 (3.8)	1 (1.9)	—	10
	あ り	39	32 (100.0)	25 (78.1)	7 (21.9)	2 (6.3)	3 (9.4)	2 (6.3)	7
あ り	総 数	570	345 (100.0)	286 (82.9)	59 (17.1)	24 (7.0)	27 (7.8)	8 (2.3)	225
	確実になし	67	44 (100.0)	39 (88.6)	5 (11.4)	3 (6.8)	2 (4.5)	—	23
	あ り	503	301 (100.0)	247 (82.1)	54 (17.9)	21 (7.0)	25 (8.3)	8 (2.7)	202

表23 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別緑色舌苔の合併

区 分	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り				不 明	
				計	軽 度	中等度	高 度		
総 数	672	430 (100.0)	361 (84.0)	69 (16.0)	28 (6.5)	31 (7.2)	10 (2.3)	237	
確 実 に な し	102	85 (100.0)	75 (88.2)	10 (11.8)	4 (4.7)	4 (4.7)	2 (2.4)	17	
あ り	総 数	570	345 (100.0)	286 (82.9)	59 (17.1)	24 (7.0)	27 (7.8)	8 (2.3)	220
	20g 以 下	146	96 (100.0)	75 (78.1)	21 (21.9)	8 (8.3)	8 (8.3)	5 (5.2)	50
	21~60g	250	141 (100.0)	118 (83.7)	23 (16.3)	11 (7.8)	12 (8.5)	—	109
	61g 以 上	112	54 (100.0)	45 (83.3)	9 (16.7)	3 (5.6)	5 (9.3)	1 (1.9)	58
	量 不 明	62	54 (100.0)	48 (88.9)	6 (11.1)	2 (3.7)	2 (3.7)	2 (3.7)	8

表24 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別緑色舌苔の合併

区 分	総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り				不 明	
				計	軽 度	中等度	高 度		
総 数	672	430 (100.0)	361 (84.0)	69 (16.0)	28 (6.5)	31 (7.2)	10 (2.3)	242	
確 実 に な し	63	53 (100.0)	50 (94.3)	3 (5.7)	2 (3.8)	1 (1.9)	—	10	
あ り	総 数	609	377 (100.0)	311 (82.5)	66 (17.5)	26 (6.9)	30 (8.0)	10 (2.7)	232
	40g 以 下	132	83 (100.0)	70 (84.3)	13 (15.7)	4 (4.8)	7 (8.4)	2 (2.4)	49
	41~140g	214	123 (100.0)	96 (78.0)	27 (22.0)	10 (8.1)	12 (9.8)	5 (4.1)	91
	141g 以 上	159	89 (100.0)	73 (82.0)	16 (18.0)	9 (10.1)	6 (6.7)	1 (1.1)	70
	量 不 明	104	82 (100.0)	72 (87.8)	10 (12.2)	3 (3.7)	5 (6.1)	2 (2.4)	22

表25 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別経過

神経症状 発現前 6カ月	神経症状 発現後	総数	総数 (除不明)	治ゆ	軽快	不変	悪化	死亡	不明
総数	総数	672	642 (100.0)	14 (2.2)	426 (66.4)	137 (21.3)	15 (2.3)	50 (7.8)	30
	確実になし	130	118 (100.0)	1 (0.8)	86 (72.9)	28 (23.7)	—	3 (2.5)	12
	あり	542	524 (100.0)	13 (2.5)	340 (64.9)	109 (20.8)	15 (2.9)	47 (9.0)	18
確実になし	総数	102	95 (100.0)	3 (3.2)	78 (82.1)	12 (12.6)	—	2 (2.1)	7
	確実になし	63	58 (100.0)	1 (1.7)	48 (82.8)	8 (13.8)	—	1 (1.7)	5
	あり	39	37 (100.0)	2 (5.4)	30 (81.1)	4 (10.8)	—	1 (2.7)	2
あり	総数	570	547 (100.0)	11 (2.0)	348 (63.6)	125 (22.9)	15 (2.7)	48 (8.8)	23
	確実になし	67	60 (100.0)	—	38 (63.3)	20 (33.3)	—	2 (3.3)	7
	あり	503	487 (100.0)	11 (2.3)	310 (63.7)	105 (21.6)	15 (3.1)	46 (9.4)	16

表26 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別経過

区	分	総数	総数 (除不明)	治ゆ	軽快	不変	悪化	死亡	不明	
総	数	672	642 (100.0)	14 (2.2)	426 (66.4)	137 (21.3)	15 (2.3)	50 (7.8)	30	
確	実になし	102	95 (100.0)	3 (3.2)	78 (82.1)	12 (12.6)	—	2 (2.1)	7	
あ	り	総数	570	547 (100.0)	11 (2.0)	348 (63.6)	125 (22.9)	15 (2.7)	48 (8.8)	23
	20g以下	146	142 (100.0)	2 (1.4)	95 (66.9)	27 (19.0)	5 (3.5)	13 (9.2)	4	
	21~60g	250	238 (100.0)	7 (2.9)	144 (60.5)	60 (25.2)	8 (3.4)	19 (8.0)	12	
	61g以上	112	107 (100.0)	2 (1.9)	66 (61.7)	28 (26.2)	1 (0.9)	10 (9.3)	5	
	量不明	62	60 (100.0)	—	43 (71.7)	10 (16.7)	1 (1.7)	6 (10.0)	2	

表27 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別経過

区 分	総 数	総 数 (除不明)	治 ゆ	軽 快	不 変	悪 化	死 亡	不 明	
総 数	672	642 (100.0)	14 (2.2)	426 (66.4)	137 (21.3)	15 (2.3)	50 (7.8)	30	
確 実 に な し	63	58 (100.0)	1 (1.7)	48 (82.8)	8 (13.8)	—	1 (7.7)	5	
あ り	総 数	609	584 (100.0)	13 (2.2)	378 (64.7)	129 (22.7)	15 (2.6)	49 (8.4)	25
	40g 以 下	132	124 (100.0)	1 (0.8)	87 (70.2)	25 (20.2)	3 (2.4)	8 (6.5)	8
	41~140g	214	207 (100.0)	6 (2.9)	125 (60.4)	50 (24.2)	3 (1.4)	23 (11.1)	7
	141g 以 上	159	153 (100.0)	5 (3.3)	96 (62.7)	34 (22.2)	7 (4.6)	11 (7.2)	6
	量 不 明	104	100 (100.0)	1 (1.0)	70 (70.0)	20 (20.0)	2 (2.0)	7 (7.0)	4

表28 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別重症度

神 経 症 状 発 現 前 6 月 前	神 経 症 状 発 現 後	総 数	総 数 (除不明)	軽 症	中 等 症	重 症	不 明
総 数	総 数	672	658 (100.0)	213 (32.4)	282 (42.9)	163 (24.8)	14
	確 実 に な し	130	125 (100.0)	51 (40.8)	50 (40.0)	24 (19.2)	5
	あ り	542	533 (100.0)	162 (30.4)	232 (43.5)	139 (26.1)	9
確 実 に な し	総 数	102	99 (100.0)	51 (51.5)	30 (30.3)	18 (18.2)	3
	確 実 に な し	63	60 (100.0)	31 (51.7)	18 (30.0)	11 (18.3)	3
	あ り	39	39 (100.0)	20 (51.3)	12 (30.8)	7 (17.9)	—
あ り	総 数	570	559 (100.0)	162 (29.0)	252 (45.1)	145 (25.9)	11
	確 実 に な し	67	65 (100.0)	20 (30.8)	32 (49.2)	13 (20.0)	2
	あ り	503	494 (100.0)	142 (28.7)	220 (44.5)	132 (26.7)	9

表29 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別重症度

区	分	総数	総数 (除不明)	軽症	中等症	重症	不明
	総数	672	658 (100.0)	213 (32.4)	282 (42.9)	163 (24.8)	14
	確実になし	102	99 (100.0)	51 (51.5)	30 (30.3)	18 (18.2)	3
あり	総数	570	559 (100.0)	162 (29.0)	252 (45.1)	145 (25.9)	11
	20g以下	146	141 (100.0)	33 (23.4)	72 (51.1)	36 (25.5)	5
	21～60g	250	245 (100.0)	76 (31.0)	108 (44.1)	61 (24.5)	5
	61g以上	112	112 (100.0)	31 (27.7)	48 (42.9)	33 (29.5)	—
	量不明	62	61 (100.0)	22 (36.1)	24 (39.3)	15 (24.6)	1

表30 神経症状発現前・後合計のキノホルム使用量別重症度

区	分	総数	総数 (除不明)	軽症	中等症	重症	不明
	総数	672	658 (100.0)	213 (32.4)	282 (42.9)	163 (24.8)	14
	確実になし	63	60 (100.0)	31 (51.7)	18 (30.0)	11 (18.3)	3
あり	総数	609	598 (100.0)	182 (30.4)	264 (44.1)	152 (25.4)	11
	40g以下	132	129 (100.0)	46 (35.7)	65 (50.4)	18 (14.0)	3
	41～140g	214	210 (100.0)	57 (27.1)	98 (46.7)	55 (26.2)	4
	141g以上	159	158 (100.0)	46 (29.1)	61 (38.6)	51 (32.3)	1
	量不明	104	101 (100.0)	33 (32.7)	40 (39.6)	28 (27.7)	3

表31 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別再燃

神経症状発現前6カ月	神経症状発現後	総数	総数 (除不明)	なし	あり	不明
総数	総数	672	646 (100.0)	519 (80.3)	127 (19.7)	26
	確実になし	130	123 (100.0)	108 (87.8)	15 (12.2)	7
	あり	542	523 (100.0)	411 (78.6)	112 (21.4)	19
確実になし	総数	102	101 (100.0)	81 (80.2)	20 (19.8)	1
	確実になし	63	63 (100.0)	57 (90.5)	6 (9.5)	—
	あり	39	38 (100.0)	24 (63.2)	14 (36.8)	1
あり	総数	570	545 (100.0)	438 (80.4)	107 (19.6)	25
	確実になし	67	60 (100.0)	51 (85.0)	9 (15.0)	7
	あり	503	485 (100.0)	387 (79.8)	98 (10.2)	18

表32 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別再燃

区分	総数	総数 (除不明)	なし	あり	不用	
総数	672	646 (100.0)	519 (80.3)	127 (19.7)	26	
確実になし	102	101 (100.0)	81 (80.2)	20 (19.8)	1	
あり	総数	570	545 (100.0)	438 (80.4)	107 (19.6)	25
	20g以下	146	138 (100.0)	107 (77.5)	31 (22.5)	8
	21～60g	250	241 (100.0)	198 (82.2)	43 (17.8)	9
	61g以上	112	109 (100.0)	90 (82.6)	19 (17.4)	3
	量不明	62	57 (100.0)	43 (75.4)	14 (24.6)	5

表33 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別再燃

区 分		総 数	総 数 (除不明)	な し	あ り	不 明
総 数		672	646 (100.0)	519 (80.3)	127 (19.7)	26
確 実 に な し		63	63 (100.0)	57 (90.5)	6 (9.5)	—
あ り	総 数	609	583 (100.0)	462 (79.2)	121 (20.8)	26
	40 g 以 下	132	123 (100.0)	102 (82.9)	21 (17.1)	9
	41 ~ 140 g	214	204 (100.0)	172 (84.3)	32 (15.7)	10
	141 g 以 上	159	157 (100.0)	110 (70.1)	47 (29.9)	2
量 不 明		104	99 (100.0)	78 (78.8)	21 (21.2)	5

表34 神経症状発現前後におけるキノホルム使用有無別手術の既往歴と術後のキノホルム使用状況

神 経 症 状 発 現 前 6 カ 月	神 経 症 状 発 現 後	総 数	な し	あ り			
				計	手術後のキノホルム使用		
					な し	あ り	不 明
総 数	総 数	672 (100.0)	611 (90.9)	61* (9.1)	9 (1.3)	27 (4.0)	25 (3.7)
	確 実 に な し	130 (100.0)	119 (91.5)	11 (8.5)	1 (0.8)	5 (3.8)	5 (3.8)
	あ り	542 (100.0)	492 (90.8)	50 (9.2)	8 (1.5)	22 (4.1)	20 (3.7)
確 実 に な し	総 数	102 (100.0)	96 (94.1)	6 (5.9)	2 (2.0)	—	4 (3.9)
	確 実 に な し	63 (100.0)	60 (95.2)	3 (4.8)	—	—	3 (4.8)
	あ り	39 (100.0)	36 (92.3)	3 (7.7)	2 (5.1)	—	1 (2.6)
あ り	総 数	570 (100.0)	515 (90.4)	55 (9.6)	7 (1.2)	27 (4.7)	21 (3.7)
	確 実 に な し	67 (100.0)	59 (88.1)	8 (11.9)	1 (1.5)	5 (7.5)	2 (3.0)
	あ り	503 (100.0)	456 (90.7)	47 (9.3)	6 (1.2)	22 (4.4)	9 (3.8)

* 手術の種類 (表35注参照)

表35 神経症状発現前におけるキノホルム使用量別手術の既往歴と手術後のキノホルム使用状況

区 分	総 数	な し	あ り				
			計	手術後のキノホルム使用			
				な し	あ り	不 明	
総 数	672 (100.0)	611 (90.9)	61* (9.1)	9 (1.3)	27 (4.0)	25 (3.7)	
確 実 に な し	102 (100.0)	96 (94.1)	6 (5.9)	2 (2.0)	—	4 (3.9)	
あ り	総 数	570 (100.0)	515 (90.4)	55 (9.6)	7 (1.2)	27 (4.7)	21 (3.7)
	20g 以下	146 (100.0)	131 (89.7)	15 (10.3)	3 (2.1)	7 (4.8)	5 (3.4)
	21 ~ 60g	250 (100.0)	224 (89.6)	26 (10.4)	2 (0.8)	17 (6.8)	7 (2.8)
	61g 以上	112 (100.0)	102 (91.1)	10 (8.9)	2 (1.8)	3 (2.7)	5 (4.5)
	量 不 明	62 (100.0)	58 (93.5)	4 (6.5)	—	—	4 (6.5)

* 手術の種類 消化器39 (腸閉塞 9, 虫垂炎 8, 胃・十二指腸潰瘍 6, 消化器がん 5, ヘルニア 3, その他 8), 婦人科 4, 結核 3, 泌尿器 3, 耳鼻科 2, その他 3, 不明 7

表36 神経症状発現前後合計のキノホルム使用量別手術の既往歴と手術後のキノホルム使用状況

区 分	総 数	な し	あ り				
			計	手術後のキノホルム使用			
				な し	あ り	不 明	
総 数	672 (100.0)	611 (90.9)	61 (9.1)	9 (1.3)	27 (4.0)	25 (3.7)	
確 実 に な し	63 (100.0)	60 (95.2)	3 (4.8)	—	—	3 (4.8)	
あ り	総 数	609 (100.0)	551 (90.5)	58 (9.5)	9 (1.5)	27 (4.4)	22 (3.6)
	40g 以下	132 (100.0)	114 (86.4)	18 (13.6)	3 (2.3)	10 (7.6)	5 (3.8)
	41 ~ 140g	214 (100.0)	194 (90.7)	20 (9.3)	2 (0.9)	11 (5.1)	7 (3.3)
	141g 以上	159 (100.0)	147 (92.5)	12 (7.5)	4 (2.5)	3 (1.9)	5 (3.1)
	量 不 明	104 (100.0)	96 (92.3)	8 (7.7)	—	3 (2.9)	5 (4.8)

表37 性、年齢別神経症状発現前6カ月のキノホルム使用状況

年齢不明6名を除く

区 分	男		女		
	39才以下	40才以上	39才以下	40才以上	
総 数	83	142	122	319	
確 実 に な し	10	24	20	48	
あ り 量 別	計	65	107	92	238
	1～10g	6	11	11	33
	11～20	7	14	19	42
	21～40	27	30	32	84
	41～60	11	23	13	30
	61～100	8	16	12	24
	101～140	4	5	2	8
	141～220	1	5	1	11
	221～300	1	—	—	1
	301～460	—	2	1	2
	461以上	—	1	1	3
あ り 量 不 明	8	11	10	33	
服 用 あ り の 平 均	46g	59g	45g	53g	

表38 下痢の程度別，神経症状発現前におけるキノホルム服用量別知覚障害の範囲

下痢	薬剤の 服用量	総数	総数 (除不明)	なし	あり						不明
					計	足関節 まで	膝まで	そけい 部まで	臍まで	その他	
一	総数	183	182 (100.0)	—	182 (100.0)	18 (9.9)	34 (18.7)	60 (33.0)	57 (31.3)	13 (7.1)	1
	确实になし	37	37 (100.0)	—	37 (100.0)	6 (16.2)	9 (24.3)	10 (27.0)	11 (29.7)	1 (2.7)	—
	20g 以下	36	35 (100.0)	—	35 (100.0)	6 (17.1)	4 (11.4)	11 (31.4)	10 (28.6)	4 (11.4)	1
	21～60g	72	72 (100.0)	—	72 (100.0)	3 (4.1)	14 (19.4)	24 (33.3)	26 (36.1)	5 (6.9)	—
	61g 以上	38	38 (100.0)	—	38 (100.0)	3 (7.9)	7 (18.4)	15 (39.5)	10 (26.3)	3 (7.9)	—
+	総数	242	240 (100.0)	—	240 (100.0)	20 (8.3)	54 (22.5)	94 (39.2)	66 (27.5)	6 (2.5)	2
	确实になし	44	44 (100.0)	—	44 (100.0)	10 (22.7)	13 (29.5)	6 (13.6)	14 (31.8)	1 (2.3)	—
	20g 以下	59	59 (100.0)	—	59 (100.0)	4 (6.8)	7 (11.9)	24 (40.7)	23 (39.0)	1 (1.7)	—
	21～60g	97	95 (100.0)	—	95 (100.0)	5 (5.3)	22 (23.2)	48 (50.5)	18 (18.9)	2 (2.1)	2
	61g 以上	42	42 (100.0)	—	42 (100.0)	1 (2.4)	12 (28.6)	16 (38.1)	11 (26.2)	2 (4.8)	—
Ⅱ～Ⅲ	総数	130	128 (100.0)	—	128 (100.0)	8 (6.3)	24 (18.8)	49 (38.3)	40 (31.3)	7 (5.5)	2
	确实になし	17	17 (100.0)	—	17 (100.0)	1 (5.9)	2 (11.8)	10 (58.8)	3 (17.6)	1 (5.9)	—
	20g 以下	35	34 (100.0)	—	34 (100.0)	1 (2.9)	9 (26.5)	9 (26.5)	13 (38.2)	2 (5.9)	1
	21～60g	53	52 (100.0)	—	52 (100.0)	6 (11.5)	8 (15.4)	20 (38.5)	15 (28.8)	3 (5.8)	1
	61g 以上	25	25 (100.0)	—	25 (100.0)	—	5 (20.0)	10 (40.0)	9 (36.0)	1 (4.0)	—

表39 下痢の程度別，神経症状発現前におけるキノホルム服用量別運動障害の程度

下痢	薬剤の 服用量	総数	総数 (除不明)	なし	あ り					不 明
					計	下肢の 脱力	歩 行 困 難	起 立 不 能	その他	
一	総 数	183	182 (100.0)	58 (31.9)	124 (68.1)	31 (17.1)	51 (28.0)	40 (22.0)	2 (1.1)	1
	確実になし	37	37 (100.0)	15 (40.5)	22 (59.5)	6 (16.2)	11 (29.7)	5 (13.5)	—	—
	20g 以下	36	35 (100.0)	8 (22.9)	27 (77.1)	7 (20.0)	10 (28.6)	10 (28.6)	—	1
	21～60g	72	72 (100.0)	23 (31.9)	49 (68.1)	12 (16.7)	20 (27.8)	16 (22.2)	1 (1.4)	—
	61g 以上	38	38 (100.0)	12 (31.6)	26 (68.4)	6 (15.8)	10 (26.3)	9 (23.7)	1 (2.6)	—
+	総 数	242	241 (100.0)	57 (23.7)	184 (76.3)	51 (21.2)	79 (32.8)	52 (21.6)	2 (0.8)	1
	確実になし	44	44 (100.0)	11 (25.0)	33 (75.0)	15 (34.1)	12 (27.3)	6 (13.6)	—	—
	20g 以下	59	58 (100.0)	13 (22.4)	45 (77.6)	10 (17.2)	19 (32.8)	15 (25.9)	1 (1.7)	1
	21～60g	97	97 (100.0)	26 (26.8)	71 (73.2)	19 (19.6)	34 (35.1)	17 (17.5)	1 (1.0)	—
	61g 以上	42	42 (100.0)	7 (16.7)	35 (83.3)	7 (16.7)	14 (33.3)	14 (33.3)	—	—
++～+++	総 数	130	129 (100.0)	25 (19.4)	104 (80.6)	23 (17.8)	49 (38.0)	30 (23.3)	2 (1.6)	1
	確実になし	17	17 (100.0)	3 (17.6)	14 (82.4)	—	7 (41.2)	7 (41.2)	—	—
	20g 以下	35	34 (100.0)	10 (29.4)	24 (70.6)	5 (14.7)	11 (32.4)	7 (20.6)	1 (2.9)	1
	21～60g	53	53 (100.0)	8 (15.1)	45 (84.9)	14 (26.4)	17 (32.1)	13 (24.5)	1 (1.9)	—
	61g 以上	25	25 (100.0)	4 (16.0)	21 (84.0)	4 (16.0)	14 (56.0)	3 (12.0)	—	—

表40 下痢の程度別，神経症状発現前におけるキノホルム服用量別視力障害の程度

下痢	薬剤の 服用量	総数	総数 (除不明)	なし	あり				不明
					計	軽度	中等度	高度	
一	総数	183	181 (100.0)	133 (73.5)	48 (26.5)	31 (17.1)	8 (4.4)	9 (5.0)	2
	确实になし	37	37 (100.0)	31 (83.8)	6 (16.2)	4 (10.8)	1 (2.7)	1 (2.7)	—
	20g以下	36	35 (100.0)	23 (65.7)	12 (34.3)	6 (17.1)	2 (5.7)	4 (11.4)	1
	21～60g	72	71 (100.0)	52 (73.2)	19 (26.8)	15 (21.1)	2 (2.8)	2 (2.8)	1
	61g以上	38	38 (100.0)	27 (71.1)	11 (28.9)	6 (15.8)	3 (7.9)	2 (5.3)	—
十	総数	242	241 (100.0)	167 (69.3)	74 (30.7)	48 (19.9)	11 (4.6)	15 (6.2)	1
	确实になし	44	44 (100.0)	28 (63.6)	16 (36.4)	8 (18.2)	4 (9.1)	4 (9.1)	—
	20g以下	59	59 (100.0)	36 (61.0)	23 (39.0)	16 (27.1)	3 (5.1)	4 (6.8)	—
	21～60g	97	96 (100.0)	75 (78.1)	21 (21.9)	15 (15.6)	2 (2.1)	4 (4.2)	1
	61g以上	42	42 (100.0)	28 (66.7)	14 (33.3)	9 (21.4)	2 (4.8)	3 (7.1)	—
卅～卅	総数	130	128 (100.0)	92 (71.9)	36 (28.1)	14 (10.9)	11 (8.6)	11 (8.6)	2
	确实になし	17	17 (100.0)	12 (70.6)	5 (29.4)	3 (17.6)	—	2 (11.8)	—
	20g以下	35	34 (100.0)	26 (76.5)	8 (23.5)	2 (5.9)	3 (8.8)	3 (8.8)	1
	21～60g	53	53 (100.0)	38 (71.7)	15 (28.3)	6 (11.3)	4 (7.5)	5 (9.4)	—
	61g以上	25	24 (100.0)	16 (66.7)	8 (33.3)	3 (12.5)	4 (16.7)	2 (4.1)	1

表41 下痢の程度別，神経症状発現前におけるキノホルム服用量別重症度

下痢	薬剤の服用量	総数	総数 (除不明)	軽症	中等症	重症	不明
一	総数	183	179 (100.0)	54 (30.2)	83 (46.4)	42 (23.5)	4
	确实になし	37	35 (100.0)	18 (51.4)	12 (34.3)	5 (14.3)	2
	20g以下	36	35 (100.0)	10 (28.6)	18 (51.4)	7 (20.0)	1
	21～60g	72	71 (100.0)	16 (22.5)	35 (49.3)	20 (28.2)	1
	61g以上	38	38 (100.0)	10 (26.3)	18 (47.4)	10 (26.3)	—
十	総数	242	235 (100.0)	88 (37.4)	84 (35.7)	63 (26.8)	7
	确实になし	44	43 (100.0)	26 (60.5)	10 (23.3)	7 (16.3)	1
	20g以下	59	57 (100.0)	14 (24.6)	24 (42.1)	19 (33.3)	2
	21～60g	97	93 (100.0)	32 (34.4)	41 (44.1)	20 (21.5)	4
	61g以上	42	42 (100.0)	16 (38.1)	9 (21.4)	17 (40.5)	—
十～卅	総数	130	129 (100.0)	32 (24.8)	65 (50.4)	32 (24.8)	—
	确实になし	17	17 (100.0)	4 (23.5)	8 (47.1)	5 (29.4)	—
	20g以下	35	34 (100.0)	7 (20.6)	22 (64.7)	5 (14.7)	1
	21～60g	53	53 (100.0)	18 (34.0)	17 (32.0)	18 (34.0)	—
	61g以上	25	25 (100.0)	3 (12.0)	18 (72.0)	4 (16.0)	—

表42 下痢の程度別，神経症状発現前におけるキノホルム服用量別再燃

下痢	薬剤の服用量	総数	総数 (除不明)	なし	あり	不明
一	総数	183	177 (100.0)	146 (82.5)	31 (17.5)	6
	確実になし	37	36 (100.0)	26 (72.2)	10 (27.8)	1
	20g以下	36	33 (100.0)	32 (97.0)	1 (3.0)	3
	21～60g	72	70 (100.0)	54 (77.1)	16 (22.9)	2
	61g以上	38	38 (100.0)	34 (89.5)	4 (10.5)	—
+	総数	242	237 (100.0)	192 (81.0)	45 (19.0)	5
	確実になし	44	44 (100.0)	39 (88.6)	5 (11.4)	—
	20g以下	59	58 (100.0)	41 (70.7)	17 (29.3)	1
	21～60g	97	94 (100.0)	78 (83.0)	16 (17.0)	3
	61g以上	42	41 (100.0)	34 (82.9)	7 (17.1)	1
++~+++	総数	130	126 (100.0)	94 (74.6)	32 (25.4)	4
	確実になし	17	17 (100.0)	12 (70.6)	5 (29.4)	—
	20g以下	35	33 (100.0)	22 (66.7)	11 (33.3)	2
	21～60g	53	52 (100.0)	43 (82.7)	9 (17.3)	1
	61g以上	25	24 (100.0)	17 (70.8)	7 (29.2)	1

表43 下痢の強さと腹痛の強さの関係

区 分	総 数	総 数 (除不明)	腹痛なし	腹 痛 あ り					不 明	
				計	+	++	+++	強さ不明		
総 数	672	649	118	531	234	158	101	38	23	
総 数 (除不明)	642	636 (100.0)	117 (18.4)	519 (81.6)	232 (36.5)	154 (24.2)	96 (15.1)	37 (5.8)	6	
下痢なし	195	195 (100.0)	28 (14.4)	167 (85.7)	53 (27.2)	59 (30.3)	45 (23.1)	10 (5.1)	—	
下痢あり	計	447	441 (100.0)	89 (20.2)	352 (79.8)	179 (40.6)	95 (21.5)	51 (11.6)	27 (6.1)	6
	+	280	279 (100.0)	56 (20.1)	223 (79.9)	136 (48.7)	56 (20.1)	26 (9.3)	5 (1.8)	1
	++	106	102 (100.0)	26 (25.5)	76 (74.5)	32 (31.4)	23 (22.5)	20 (19.6)	1 (1.0)	4
	+++	31	31 (100.0)	4 (12.9)	27 (87.1)	7 (22.6)	15 (48.4)	5 (16.1)	—	—
	強さ不明	30	29 (100.0)	3 (10.3)	26 (89.7)	4 (13.8)	1 (3.4)	—	21 (72.4)	1
不 明	30	13	1	12	2	4	5	1	17	

表44 腹痛の程度別，神経症状発現前におけるキノホルム服用量別重症度

腹 痛	薬 剤 の 服 用 量	総 数	総 数 (除不明)	軽 症	中 等 症	重 症	不 明
—	総 数	112	111 (100.0)	41 (36.9)	42 (37.8)	28 (25.2)	1
	確 実 に な し	20	20 (100.0)	11 (55.0)	4 (20.0)	5 (25.0)	—
	20 g 以 下	31	31 (100.0)	7 (22.6)	13 (41.9)	11 (35.5)	—
	21 ~ 60 g	36	35 (100.0)	14 (40.0)	13 (37.1)	8 (22.9)	1
	61 g 以 上	25	25 (100.0)	9 (36.0)	12 (48.0)	4 (16.0)	—
+	総 数	195	190 (100.0)	81 (42.6)	76 (40.0)	33 (17.4)	5
	確 実 に な し	49	46 (100.0)	25 (54.3)	15 (32.6)	6 (13.1)	3
	20 g 以 下	36	35 (100.0)	10 (28.6)	18 (51.4)	7 (20.0)	1
	21 ~ 60 g	82	81 (100.0)	34 (42.0)	36 (44.4)	11 (13.6)	1
	61 g 以 上	28	28 (100.0)	12 (42.9)	7 (25.0)	9 (32.1)	—
++~+++	総 数	247	241 (100.0)	51 (21.2)	114 (47.3)	76 (31.5)	6
	確 実 に な し	31	31 (100.0)	13 (41.9)	11 (35.5)	7 (22.6)	—
	20 g 以 下	65	62 (100.0)	13 (21.0)	34 (54.8)	15 (24.2)	3
	21 ~ 60 g	99	96 (100.0)	16 (16.7)	43 (44.8)	37 (38.5)	3
	61 g 以 上	52	52 (100.0)	9 (17.3)	26 (50.0)	17 (32.7)	—

表45 下痢の程度別神経症状発現前におけるキノホルム服用量別経過

下痢	薬剤の服用量	総数	総数 (除不明)	治癒	軽快	不変	変化	死亡	不明
一	総数	183	169 (100.0)	8 (4.7)	112 (66.3)	37 (21.9)	1 (0.6)	12 (7.1)	14
	確実になし	37	32 (100.0)	3 (9.4)	25 (78.1)	4 (12.5)	—	—	5
	20g以下	36	35 (100.0)	1 (2.9)	22 (62.9)	7 (20.0)	—	5 (14.3)	1
	21～60g	72	68 (100.0)	2 (2.9)	43 (63.2)	20 (29.4)	1 (1.5)	3 (4.4)	4
	61g以上	38	34 (100.0)	2 (5.9)	22 (64.7)	6 (17.6)	—	4 (11.8)	4
+	総数	242	234 (100.0)	4 (1.7)	154 (65.8)	47 (20.1)	8 (3.4)	21 (9.0)	8
	確実になし	44	42 (100.0)	—	34 (81.0)	7 (16.7)	—	1 (2.4)	2
	20g以下	59	58 (100.0)	1 (1.7)	40 (69.0)	7 (12.1)	4 (6.9)	6 (10.3)	1
	21～60g	97	93 (100.0)	3 (3.2)	56 (60.2)	22 (23.7)	4 (4.3)	8 (8.6)	4
	61g以上	42	41 (100.0)	—	24 (58.5)	11 (26.8)	—	6 (14.6)	1
Ⅱ～Ⅲ	総数	130	125 (100.0)	1 (0.8)	94 (75.2)	20 (16.0)	4 (3.2)	6 (4.8)	5
	確実になし	17	17 (100.0)	—	15 (88.2)	1 (5.9)	—	1 (5.9)	—
	20g以下	35	34 (100.0)	—	27 (79.4)	6 (17.6)	1 (29.4)	—	1
	21～60g	53	49 (100.0)	1 (2.0)	35 (71.4)	8 (10.2)	3 (6.1)	5 (10.2)	4
	61g以上	25	25 (100.0)	—	17 (68.0)	8 (32.0)	—	—	—

表46 手術後におけるキノホルム使用の有無と神経症状の程度

a 知覚障害

区 分	総 数	な し	あ り						不 明
			計	足関節 ま	膝まで	そけい 部まで	臍まで	その他	
総 数	61	—	59	3	10	20	22	4	2
キノホルム使用	9	—	9	1	3	2	2	1	—
使用せず	27	—	26	1	3	12	9	1	1
不 明	25	—	24	1	4	6	11	2	1

b 運 動 障 害

区 分	総 数	な し	あ り					不 明
			計	下肢脱力	歩行困難	起立不能	そ の 他	
総 数	61	11	49	11	22	16	—	1
キノホルム使用	9	3	6	1	2	3	—	—
使用せず	27	4	23	7	9	7	—	—
不 明	25	4	20	3	11	6	—	1

c 視 力 障 害

区 分	総 数	な し	あ り				不 明
			計	軽 度	中 等 度	高 度	
総 数	61	42	15	7	4	4	4
キノホルム使用	9	6	3	1	1	1	—
使用せず	27	19	5	2	1	2	3
不 明	25	17	7	4	2	1	1

d 再 燃

区 分	総 数	な し	あ り	不 明
総 数	61	48	10	3
キノホルム使用	9	5	4	—
使用せず	27	21	4	2
不 明	25	22	2	1

表47 スモン患者672例（総数890例中キノホルム服用の不確実および不明例を除く）
中の死亡者50名についての分析

区 分					区 分				
		男女計	男	女			男女計	男	女
総 数		50	10	40	神* 神経症状発現前キノホルム使用量		2	1	1
年 令 別	19才以下	1	—	1	確実になし	2	1	1	
	20~29	4	1	3	1~10g	6	1	5	
	30~39	2	1	1	11~20	7	2	5	
	40~49	11	3	8	21~40	11	2	9	
	50~59	7	1	6	41~60	8	2	6	
	60~69	18	3	15	61~100	5	2	3	
	70才以上	6	1	5	101~140	1	—	1	
	不 明	1	—	1	141~220	3	—	3	
初 診 年 次 別	昭和36年以前	2	1	1	221~300	—	—	—	
	37	2	1	1	301 以上	1	—	1	
	38	2	1	1	不 明	6	—	6	
	39	7	1	6	神** 神経症状発現後キノホルム使用量		3	—	3
	40	3	1	2	確実になし	3	—	3	
	41	8	1	7	1~10g	6	2	4	
	42	2	—	2	11~20	3	2	1	
	43	7	1	6	21~40	9	2	7	
	44	10	3	7	41~60	6	2	4	
	45	2	—	2	61~100	10	1	9	
不 明	—	—	—	101~140	4	—	4		
知覚障害範囲	なし	—	—	—	141~220	1	—	1	
	足 関 節	1	—	1	221~300	2	—	2	
	膝	2	2	—	301 以上	—	—	—	
	そ け い 部	8	1	7	不 明	6	1	5	
	臍	23	6	17	* キノホルム使用ありのみの 男女計平均 54g				
そ の 他	16	1	15	** “ 64g					
不 明	—	—	—						
運 動 障 害 の 程 度	なし	1	—	1					
	下肢の脱力	3	1	2					
	歩 行 困 難	10	3	7					
	起 立 不 能	35	6	29					
	そ の 他	1	—	1					
不 明	—	—	—						
視 力 障 害	なし	20	5	15					
	軽 度	12	3	9					
	中 等	9	—	9					
	高 度	8	2	6					
	不 明	1	—	1					

表48 臨床班員別症例の性・年齢構成, キノホルム剤服用状況および経過

臨床班員氏名 (受領月日順) (称敬略)	総数	性・年齢構成												神経症状発現前のキノホルム服用状況						経過					
		男						女						確実になし				ないらしいが不確実		治		不		死	
		計	39才以下	40才以上	60才以上	不明	計	39才以下	40才以上	60才以上	不明	計	患者+カルテ	患者	カルテ	他・不明	あり	不明	ゆ	快	変	化	亡	明	
																									根
総数	890	291	106	118	64	359	171	251	173	4	110	41	15	48	6	22	610	148	15	580	176	16	55	48	
1 大藤 真	47	12	6	3	3	—	35	9	16	10	—	6	1	3	2	—	6	30	5	—	31	5	1	7	3
2 藤原 哲司	26	9	3	3	3	—	17	8	7	2	—	—	—	—	—	—	26	—	—	19	6	—	1	—	
4 伊藤弓多果	28	6	1	3	—	2	22	6	10	3	3	—	—	—	—	—	28	—	1	14	7	—	4	2	
5 平木 潔	43	16	6	6	4	—	27	7	16	3	1	2	—	1	1	—	3	31	7	—	26	10	3	3	1
6 黒岩義五郎	32	7	3	1	3	—	25	3	10	12	—	2	1	—	1	—	30	—	—	29	2	—	—	1	
8 豊倉 康夫	60	13	7	4	1	1	47	15	19	13	—	3	—	—	1	2	—	56	1	1	29	24	—	3	3
9 小坂 淳夫	34	11	5	5	1	—	23	14	5	4	—	19	14	5	—	—	5	10	—	1	27	2	1	2	1
10 高崎 浩	31	7	3	1	3	—	24	8	15	1	—	1	—	—	1	—	—	4	26	—	24	4	—	1	2
11 椿 忠雄	39	13	5	7	1	—	26	13	8	5	—	—	—	—	—	—	3	35	1	—	12	19	—	—	3
12 三好 和夫	24	11	6	5	—	—	13	3	6	4	—	2	—	1	1	—	—	22	—	—	13	8	1	1	1
13 杉山 尚	20	6	3	1	2	—	14	4	5	5	—	7	—	—	7	—	—	12	1	1	17	2	—	—	—
15 祖父江逸郎	199	79	23	35	21	—	120	29	40	51	—	18	3	1	14	—	1	172	8	10	101	52	8	21	7
16 大村 一郎	234	75	23	35	17	—	159	41	70	48	—	43	22	2	17	2	4	92	95	1	186	24	—	5	18
17 楠井 賢造	25	10	5	4	1	—	15	5	7	3	—	1	—	1	—	—	—	23	1	—	20	—	1	4	—
18 越島新三郎	39	12	4	5	3	—	27	3	16	8	—	5	—	1	3	1	—	31	3	—	25	9	1	3	1
3 7 14 早瀬 正二 大月 三郎 右京 成夫	9	4	3	—	1	—	5	3	1	1	—	1	—	—	1	—	—	8	—	—	7	2	—	—	—

付 各班員20枚ずつの抽出標本による、主要項目集計成績

表1 抽出標本の班員別内訳

No.	臨床班員氏名 (受領月日順・敬称略)	受領調査票 枚数	抽出枚数
1	大藤真	47	20
2	藤原哲司	26	20
3	早瀬正二	5	—
4	伊藤弓多果	28	20
5	平木潔	43	20
6	黒岩義五郎	32	20
7	大月三郎	2	—
8	豊倉康夫	60	20
9	小坂淳夫	34	20
10	高崎浩	31	20
11	椿忠雄	39	20
12	三好和夫	24	20
13	杉山尚	20	20
14	右京成夫	2	—
15	祖父江逸郎	199	20
16	大村一郎	234	20
17	楠井賢造	25	20
18	越島新三郎	39	20
	計	890	300

表2 性・年齢構成(全数集計表2に該当)

区分	総数	年 令 別								年齢不明
		全年令	~19才	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70才以上	
男女計	300	293 (100.0)	8 (2.7)	37 (12.6)	51 (17.4)	67 (22.9)	64 (21.8)	52 (17.7)	14 (4.8)	7
男	101	98 (100.0)	5 (5.1)	10 (10.2)	22 (22.4)	20 (20.4)	19 (19.4)	18 (18.4)	4 (4.1)	3
女	199	195 (100.0)	3 (1.5)	27 (13.8)	29 (14.9)	47 (24.1)	45 (23.1)	34 (17.4)	10 (5.1)	4

()内は%を示す。以下の表も同じ。

表3 初診年・神経症状発現年別患者数(全数集計表3に該当)

区分	総数	年 次 別											年次不明
		全年次	昭和36 年以前	37年	38年	39年	40年	41年	42年	43年	44年	45年	
初診年	300	295 (100.0)	15 (5.1)	7 (2.4)	1 (0.3)	10 (3.4)	27 (9.2)	24 (8.1)	14 (4.7)	27 (9.2)	86 (29.2)	84 (28.5)	5
神経症状 発現年	300	297 (100.0)	10 (3.4)	6 (2.0)	11 (3.7)	8 (2.7)	21 (7.1)	28 (9.4)	21 (7.1)	32 (10.8)	93 (31.3)	67 (22.6)	3

表4 神経症状発現前6カ月・神経症状発現後のキノホルム使用状況別患者数（全数集計表4に該当）

区 分	総 数	薬 剤 使 用 状 況 別								使用状 況不明
		総 数 (除不明)	確 実 に な し					ないら しいが 不確実	あ り	
			計	な し の 裏 づ け						
				「患者に きいた」 「カルテ を調べた」 の両者	「患者に きいた」 のみ	「カルテ を調べた」 のみ	その他 不明			
神経症状発現 前6カ月の間	300	265 (100.0)	36 (13.6)	12 (4.5)	7 (2.6)	17 (6.4)	—	9 (3.4)	220 (83.0)	35
神経症状発現 後	300	274 (100.0)	49 (17.9)	8 (2.9)	—	40 (14.6)	1 (0.4)	13 (4.7)	212 (77.4)	26

表5 神経症状発現前・後のキノホルム使用状況（全数集計表5に該当）

区 分	神 経 症 状 発 現 後					
	総 数	除 不 確 実 ・ 不 明			ないらしいが 不確実または 不明	
		計	確実になし	あ り		
総 数	300	261	49	212	39	
神経症状発現後6カ月 除不確実不明	計	256	238	44	194	18
	確実になし	36	34	20	14	2
	あ り	220	204	24	180	16
	ないらしいが不確 実または不明	44	23	5	18	21

太枠内の症例数を以下の表における分析対象とした。

表6 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別下痢の強さ(全数集計表7に該当)

神経症状 発現前 6ヶ月	神経症状 発現後	総数	総数 (除不明)	なし	下痢あり					不明
					計	+	++	+++	強さ不明	
総数	総数	238	227 (100.0)	63 (27.8)	164 (72.2)	81 (35.7)	47 (20.7)	20 (8.8)	16 (7.0)	11
	確に 実なし	44	43 (100.0)	16 (37.2)	27 (62.8)	13 (30.2)	8 (18.6)	6 (14.0)	—	1
	あり	194	184 (100.0)	47 (25.5)	137 (74.5)	68 (37.0)	39 (21.2)	14 (7.6)	16 (8.7)	10
確実に なし	総数	34	34 (100.0)	11 (32.4)	23 (67.6)	11 (32.4)	7 (20.6)	4 (11.8)	1 (2.9)	—
	確に 実なし	20	20 (100.0)	7 (35.0)	13 (65.0)	5 (25.0)	4 (20.0)	4 (20.0)	—	—
	あり	14	14 (100.0)	4 (28.6)	10 (71.4)	6 (42.9)	3 (21.4)	—	1 (7.1)	—
あり	総数	204	193 (100.0)	52 (26.9)	141 (73.1)	70 (36.3)	40 (20.7)	16 (8.3)	15 (7.8)	11
	確に 実なし	24	23 (100.0)	9 (39.1)	14 (60.9)	8 (34.8)	4 (17.4)	2 (8.7)	—	1
	あり	180	170 (100.0)	43 (25.3)	127 (74.7)	62 (36.5)	36 (21.2)	14 (8.2)	15 (8.8)	10

表7 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別腹痛の強さ(全数集計表10に該当)

神経症状 発現前 6ヶ月	神経症状 発現後	総数	総数 (除不明)	なし	あり					不明
					計	+	++	+++	強さ不明	
総数	総数	238	227 (100.0)	31 (13.7)	196 (86.3)	78 (34.4)	72 (31.7)	27 (11.9)	19 (8.4)	11
	確に 実なし	44	43 (100.0)	8 (18.6)	35 (81.4)	14 (32.6)	14 (32.6)	5 (11.6)	2 (4.7)	1
	あり	194	184 (100.0)	23 (12.5)	161 (87.5)	64 (34.8)	58 (31.5)	22 (12.0)	17 (9.2)	10
確実に なし	総数	34	34 (100.0)	5 (14.7)	29 (85.3)	13 (38.2)	13 (38.2)	1 (2.9)	2 (5.9)	—
	確に 実なし	20	20 (100.0)	3 (15.0)	17 (85.0)	10 (50.0)	7 (35.0)	—	—	—
	あり	14	14 (100.0)	2 (14.3)	12 (85.7)	3 (21.4)	6 (42.9)	1 (7.1)	2 (14.3)	—
あり	総数	204	193 (100.0)	26 (13.5)	167 (86.5)	65 (33.7)	59 (30.6)	26 (13.5)	17 (8.8)	11
	確に 実なし	24	23 (100.0)	5 (21.7)	18 (78.3)	4 (17.4)	7 (30.4)	5 (21.7)	2 (8.7)	1
	あり	180	170 (100.0)	21 (12.4)	149 (87.6)	61 (35.9)	52 (30.6)	21 (12.4)	15 (8.8)	10

表8 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別知覚障害の範囲（全数集計表13に該当）

神経症状 発現前 6カ月	神経症状 発現後	総数	総数 (除不明)	なし	あ り						不明
					計	足関節 まで	膝まで	そけい部 まで	臍まで	他	
総数	総数	238	235 (100.0)	—	235 (100.0)	21 (8.9)	43 (18.3)	90 (38.3)	67 (28.5)	14 (6.0)	3
	確 実 に な し	44	43 (100.0)	—	43 (100.0)	6 (14.0)	9 (20.9)	18 (41.9)	10 (23.3)	—	1
	あ り	194	192 (100.0)	—	192 (100.0)	15 (7.8)	34 (17.7)	72 (37.5)	57 (29.7)	14 (7.3)	2
確 実 に な し	総数	34	34 (100.0)	—	34 (100.0)	7 (20.6)	7 (20.6)	10 (29.4)	9 (26.5)	1 (2.9)	—
	確 実 に な し	20	20 (100.0)	—	20 (100.0)	3 (15.0)	5 (25.0)	8 (40.0)	4 (20.0)	—	—
	あ り	14	14 (100.0)	—	14 (100.0)	4 (28.6)	2 (14.3)	2 (14.3)	5 (35.7)	1 (7.1)	—
あ り	総数	204	201 (100.0)	—	201 (100.0)	14 (7.0)	36 (17.9)	80 (39.8)	58 (28.9)	13 (6.5)	3
	確 実 に な し	24	23 (100.0)	—	23 (100.0)	3 (13.0)	4 (17.4)	10 (43.5)	6 (26.1)	—	1
	あ り	180	178 (100.0)	—	178 (100.0)	11 (6.2)	32 (18.0)	70 (39.3)	52 (29.2)	13 (7.3)	2

表9 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別運動障害の程度（全数集計表16に該当）

神経症状 発現前 6カ月	神経症状 発現後	総数	総数 (除不明)	なし	あ り					不明
					計	下肢の 脱力	歩行困難	起立不能	その他	
総 数	総数	238	237 (100.0)	39 (16.5)	198 (83.5)	53 (22.4)	95 (40.1)	47 (19.8)	3 (1.3)	1
	確 実 に な し	44	43 (100.0)	13 (30.2)	30 (69.8)	10 (23.3)	13 (30.2)	6 (14.0)	1 (2.3)	1
	あ り	194	194 (100.0)	26 (13.4)	168 (86.6)	43 (22.2)	82 (42.3)	41 (21.1)	2 (1.0)	—
確 定 に な し	総数	34	34 (100.0)	10 (29.4)	24 (70.6)	6 (17.6)	13 (38.2)	5 (14.7)	—	—
	確 実 に な し	20	20 (100.0)	5 (25.0)	15 (75.0)	4 (20.0)	8 (40.0)	3 (15.0)	—	—
	あ り	14	14 (100.0)	5 (35.7)	9 (64.3)	2 (14.3)	5 (35.7)	2 (14.3)	—	—
あ り	総数	204	203 (100.0)	29 (14.3)	174 (85.7)	47 (23.2)	82 (40.4)	42 (20.7)	3 (1.5)	1
	確 実 に な し	24	23 (100.0)	8 (34.8)	15 (65.2)	6 (26.1)	5 (21.7)	3 (13.0)	1 (4.3)	1
	あ り	180	180 (100.0)	21 (11.7)	159 (88.3)	41 (21.8)	77 (42.8)	39 (21.7)	2 (1.1)	—

表10 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別視力障害の程度（全数集計表19に該当）

神経症状 発現前 月	神経症状 発現後	総数	総数 (除不明)	なし	あり				不明
					計	軽度	中等度	高度	
総数	総数	238	235 (100.0)	179 (76.2)	56 (23.8)	22 (9.4)	17 (7.2)	17 (7.2)	3
	確実になし	44	43 (100.0)	34 (79.1)	9 (20.9)	8 (18.6)	1 (2.3)	—	1
	あり	194	192 (100.0)	145 (75.5)	47 (24.5)	14 (7.3)	16 (8.3)	17 (8.9)	2
確実になし	総数	34	34 (100.0)	27 (79.4)	7 (20.6)	4 (11.8)	1 (2.9)	2 (5.9)	—
	確実になし	20	20 (100.0)	15 (75.0)	5 (25.0)	4 (20.0)	1 (5.0)	—	—
	あり	14	14 (100.0)	12 (85.7)	2 (14.3)	—	—	2 (14.3)	—
あり	総数	204	201 (100.0)	152 (75.6)	49 (24.4)	18 (9.0)	16 (8.0)	15 (7.5)	3
	確実になし	24	23 (100.0)	19 (82.6)	4 (17.4)	4 (17.4)	—	—	1
	あり	180	178 (100.0)	133 (74.7)	45 (25.3)	14 (7.9)	16 (9.0)	15 (8.4)	2

表11 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別経過（全数集計表25に該当）

神経症状 発現前 月	神経症状 発現後	総数	総数 (除不明)	治ゆ	軽快	不変	悪化	死亡	不明
総数	総数	238	230 (100.0)	3 (1.3)	158 (68.7)	42 (18.3)	7 (3.0)	20 (8.7)	8
	確実になし	44	44 (100.0)	—	35 (79.5)	8 (18.2)	—	1 (2.3)	—
	あり	194	186 (100.0)	3 (1.6)	123 (66.1)	34 (18.3)	7 (3.8)	19 (10.2)	8
確実になし	総数	34	34 (100.0)	1 (2.9)	30 (88.2)	3 (8.8)	—	—	—
	確実になし	20	20 (100.0)	—	19 (95.0)	1 (5.0)	—	—	—
	あり	14	14 (100.0)	1 (7.1)	11 (78.6)	2 (14.3)	—	—	—
あり	総数	204	196 (100.0)	2 (1.0)	128 (65.3)	39 (19.9)	7 (3.6)	20 (10.2)	8
	確実になし	24	24 (100.0)	—	16 (66.7)	7 (29.2)	—	1 (4.2)	—
	あり	180	172 (100.0)	2 (1.2)	112 (65.1)	32 (18.6)	7 (4.1)	19 (11.0)	8

表12 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別重症度（全数集計表28に該当）

神経症状発現前6ヶ月	神経症状発現後	総数	総数 (除不明)	軽症	中等症	重症	不明
総数	総数	238	234 (100.0)	74 (31.6)	107 (45.7)	53 (22.6)	4
	确实になし	44	43 (100.0)	18 (41.9)	20 (46.5)	5 (11.6)	1
	あり	194	191 (100.0)	56 (29.3)	87 (45.5)	48 (25.1)	3
确实になし	総数	34	34 (100.0)	17 (50.0)	11 (32.4)	6 (17.6)	—
	确实になし	20	20 (100.0)	10 (50.0)	7 (35.0)	3 (15.0)	—
	あり	14	14 (100.0)	7 (50.0)	4 (28.6)	3 (21.4)	—
あり	総数	204	200 (100.0)	57 (28.5)	96 (48.0)	47 (23.5)	4
	确实になし	24	23 (100.0)	8 (34.8)	13 (56.5)	2 (8.7)	1
	あり	180	177 (100.0)	49 (27.7)	83 (46.9)	45 (25.0)	3

表13 神経症状発現前・後におけるキノホルム使用有無別再燃（全数集計表31に該当）

神経症状発現前6ヶ月	神経症状発現後	総数	総数 (除不明)	なし	あり	不明
総数	総数	238	230 (100.0)	176 (76.5)	54 (23.5)	8
	确实になし	44	42 (100.0)	34 (81.0)	8 (19.0)	2
	あり	194	188 (100.0)	142 (75.5)	46 (24.5)	6
确实になし	総数	34	34 (100.0)	22 (64.7)	12 (35.3)	—
	确实になし	20	20 (100.0)	15 (75.0)	5 (25.0)	—
	あり	14	14 (100.0)	7 (50.0)	7 (50.0)	—
あり	総数	204	196 (100.0)	154 (78.6)	42 (21.4)	8
	确实になし	24	22 (100.0)	19 (86.4)	3 (13.6)	2
	あり	180	174 (100.0)	135 (77.6)	39 (22.4)	6

表14 神経症状発現前・後におけるキノホルムの使用有無別手術の既往歴と手術後のキノホルム使用状況（全数集計表34に該当）

神経症状 発現前6カ月	神経症状 発現後	総数	なし	あり			
				計	手術後のキノホルム使用		
					なし	あり	不明
総数	総数	238 (100.0)	209 (87.8)	29 (12.2)	5 (2.1)	17 (7.1)	7 (2.9)
	確実になし	44 (100.0)	39 (88.6)	5 (11.4)	1 (2.3)	3 (6.8)	1 (2.3)
	あり	194 (100.0)	170 (87.6)	24 (12.4)	4 (2.1)	14 (17.2)	6 (3.1)
確実になし	総数	34 (100.0)	30 (88.2)	4 (11.8)	2 (5.9)	—	2 (5.9)
	確実になし	20 (100.0)	19 (95.0)	1 (5.0)	—	—	1 (5.0)
	あり	14 (100.0)	11 (78.6)	3 (21.4)	2 (14.3)	—	1 (7.1)
あり	総数	204 (100.0)	179 (87.7)	25 (12.3)	3 (1.5)	17 (8.3)	5 (2.5)
	確実になし	24 (100.0)	20 (83.3)	4 (16.7)	1 (4.2)	3 (12.5)	—
	あり	180 (100.0)	159 (88.3)	21 (11.7)	2 (1.1)	14 (7.8)	5 (2.8)

II-5. 昭和45年におけるスモン患者の発生状況

スモン調査研究協議会臨床班

集計責任者 楠 井 賢 造

御承知のような経緯で、昭和45年9月7日の中央薬事審議会の答申にもとずき、その翌8日「キノホルム剤の販売中止と使用見合わせ」の行政措置が通達されてから既に約6カ月を経過した。最近、各地でスモンの新患者が著明に減少したという声をしばしば耳にする。去る2月5日、甲野会長から、その実態を調査する手始めとして、スモン調査研究協議会臨床班各位の御経験をまとめてはとの御電話があった。早速、私案の調査事項記入票を各位の御手許に送附し、2月20日までに御返送いただくようお願いいたしたところ、御多用中にもかかわらず、絶大な御協力を賜わり、本日ここに集計成績を発表させていただけるはこびと相成ったことを謹んで厚く御礼申し上げます。なお、集計にあたり、出来るだけ正確を期し、各位の御報告を誤り伝えることのないようにと、極めて細かい神経を使った関係上、不審な点などに関し、直接電話で照会するなど、御面倒をおかけいたしことに対し何卒御寛容の程お願い申し上げます。

集 計 成 績

昭和45年1月1日から46年1月31日までの期間に、各位の施設で初診されたスモン患者のなかで、昭和45年1月1日以降に発病した患者を昭和45年9月7日までと9月8日以降とに分け、それぞれ発病前キノホルムを服用したことの有・無、どちらともまだはっきりしないものの例数を表1に示した。ごらんのように、小坂班員の報告を除き、どの施設でも、昭和45年9月8日以降スモンの新患者の発生は、同年9月7日までに比べて激減し、とりわけ12施設では1例も出ていない。なお、昭和45年9月8日以降、新たに発病したスモン症例数はあわせて19例であるが、そのなかで、神経症状発現前に、キノホルムを服用したものが6例、服用しなかったとの報告が9例、不詳ないし調査中が4例である。但し、キノホルム服用はおおむね上述の行政措置通達以前で、発病時期は9月4例、10月初旬ないし中旬2例である。また、キノホルム非服用者9例の発病時期は9月下旬2例、10月3例、12月3例、46年1月下旬1例であり、其他4例の発病時期は9月1例、11月2例、12月始め1例である。

次に、昭和45年1月1日以降新たに発病したスモン患者を発生月別に例数を分布すると、表2に示すような成績が得られる。これによると、1～3月までは34～37例の間にあり、4～

表1 昭和45年1月1日～46年1月31日に発病したスモン患者のキノホルム服用状況

班員氏名 (敬称略)	45.1.1～45.9.7. 発病				45.9.8～46.1.31. 発病			
	患者数	神経症状発現前 キノホルム服用			患者数	神経症状発現前 キノホルム服用		
		有	無	其他		有	無	其他
伊東弓多果	4	4			0			
右京成夫	1	1			0			
大月三郎	2	2			0			
大藤真	2			2	1	1		
大村一郎	46	22		24	3	1		2
奥田観士	6	2		4	1	1		
楠井賢造	5	2		3	0			
黒岩義五郎	8	7		1	1			1
小坂淳夫	4	4			7		7	
越島新三郎	15	10	1	4	2	1		1
鹿野信一	豊倉康夫班員の報告と全例重複に故に除去する							
杉山尚	24	17		7	0			
祖父江逸郎	122	57	6	59	4	2	2	
高崎浩	1		1		0			
椿忠雄	52	34	3	15	0			
豊倉康夫	53	27		26	0			
早瀬正二	4	4			0			
平木潔	9	9			0			
藤原哲司	6	5		1	0			
三好和夫	7	5		2	0			
計	371	212	11	148	19	6	9	4

注：キノホルム服用欄の其他とは、不詳、不確実、調査中などの場合

5月43～49例，6月57例，7月60例に増加し，8月47例に減少，9月から急激に減少していることがうかがえる。

ま と め

昭和45年におけるスモンの新患者発生は，各班員の報告を合算すると，9月以降急激に減少していることがうかがえる。この減少はあたかも「キノホルム剤の販売中止と使用見わせ」という行政措置と相前後して始っている。しかし，この行政措置以降キノホルムを服用しないで発病したスモンが9例いたという2班員の報告もあり，実際この行政措置の影響によってスモン患者の発生が減少したものかどうかを確認するにはなお今後さらに徹底的な調査・研究の続行が必要であると考えらる。

表2 昭和45年1月1日～46年1月31日，スモン新患者の月別発生例数

班員氏名 (敬称略)	昭和45年												46年	
	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX 8日	X	XI	XII	I	
伊東弓多果	1					2	1							
右京成夫					1									
大月三郎				1	1									
大藤真			1						1	1				
大村一郎	5	2	4	8	3	6	11	6	1	1		1	1	
奥田観士		2		1		2		1			1			
楠井賢造		2		1		1		1						
黒岩義五郎	1			1	1	1	3	1				1		
小坂淳夫	1				2		1			1	2		3	1
越島新三郎	1	2	1	1	4	2	1	1	2	2				
鹿野信一	豊倉康夫班員の報告と全例重複の故に除去する													
杉山尚	3	2	2	4	4	6	2	1						
祖父江逸郎	15	10	13	11	14	20	19	19	1	2	2			
高崎浩								1						
椿忠雄	3	9	4	7	6	9	8	4	2					
豊倉康夫	6	3	7	6	10	3	10	7	1					
早瀬正二			2		1			1						
平木潔	1	1	1	1	1	2	2							
藤原哲司		1		1				1	2	1				
三好和夫					1	3	1	2						
計	37	34	35	43	49	57	60	47	9	7	5	2	4	1

追記 本稿は昭和46年3月1日，スモン調査研究協議会総合班会議で発表した内容をさらに充足整理したものである。

II-6. キノホルム障害と見做される臨床 症状の究明に関する小委員会報告

昭和46年3月2日，スモン調査研究協議会総合班会議での報告

準備委員代表 楠 井 賢 造

昨年夏以来，スモンの発病とキノホルム服用との関連が盛んに論議され，とりわけこの2日間にわたる班会議でもこれに関する多数の御報告を拝聴した。恐らく，おそかれ早かれ，何れはその黑白がはっきりすることゝ思う。もし，仮にキノホルムがスモンの発病に関連ありとい

うような線が出た際には、キノホルム障害と見做される臨床症状が医学的のみならず、社会的にも問題になることが予想される。就てはスモン調査研究協議会においても、それに対応して一般医師が当惑しないだけの資料を準備して置く必要があろうかと存ずる。去る1月12日の幹事会でも、このことが話題にのぼり、いろいろ話し合いの結果、臨床班がこれを担当し、小委員会を設けてはとの議がまとまり、豊倉康夫班長の御発議で、わたくしにそのお世話をするようにとのことで、不束ながら受諾した次第である。また、その席で、小委員会を設けるための準備委員として、豊倉康夫、平木潔両幹事のほかに、椿 忠雄、祖父江逸郎、高崎 浩の3班員に加わっていただいていたということが決った。そこで、わたくしから1月13日付で、上記5氏に、趣意書を添えて、今度の総合班会議の前日、即ち2月28日の打ち合わせ会に御出席下さるようお願い申し上げたところ、各位から御快諾・御出席下さるとのお返事をいただいた。

当日は午後1時から、日本都市センター別館の第3会議室で、座談式に御自由な討議をいただいたが、何分にも大変六かしい問題であり、またスモンの病因としてキノホルムの果している関与の程度もまだはっきりつかめていない現状では、とてもまとまった見解が出よう筈もないまゝ、午後8時過ぎ散会した。出席者は、上記準備委員5名のほか、オブザーバーとして甲野礼作会長、重松逸造疫学班長、石井慶蔵博士に御列席願った。特に、石井博士には会場の設営その他、いろいろお世話いただいたことをあらためてお礼申し上げる。

司会はわたくしがつとめ、準備委員各位からいろいろ卓見を承り、メモいたしている。不日、再び提題のような小委員会を設ける必要が生じた節には、及ばずながら、わたくしたち準備委員がその任を果すべく覚悟していることをお伝えし、報告を終る。

附. 下痢を伴う脳脊髄炎症の原因および治療の研究班 (班長：前川孫二郎)の原著目録

腹部症状を伴う脳脊髄炎症の疫学的研究 日本医事新報, 2378: 3, 1969 (11. 22)
前川孫二郎, 豊倉康夫, 中尾喜久, 椿 忠雄, 祖父江逸郎, 高安正夫, 高崎 浩, 楠井賢造,
三好和夫, 黒岩義五郎, 奥田邦雄

昭和46年3月20日 印刷
昭和46年3月25日 発行

スモン調査研究協議会研究報告書
No. 2 臨床班研究報告

(非売品)

編集者 楠 井 賢 造
発行者 甲 野 礼 作

発行所 スモン調査研究協議会
東京都品川区上大崎2-10-35
国立予防衛生研究所内

印刷所 日本印刷出版株式会社
大阪市福島区亀甲町2丁目62